

令和5年度
福祉除雪事業アンケート調査結果の概要
【主要項目】

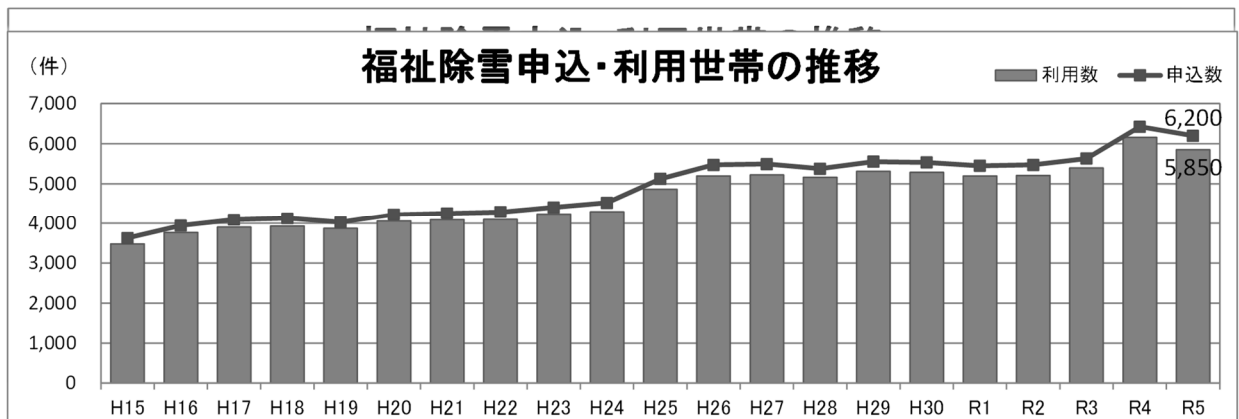
- I 活動状況
- II 利用世帯
- III 地域協力員
- IV 地域協力団体

令和6年6月

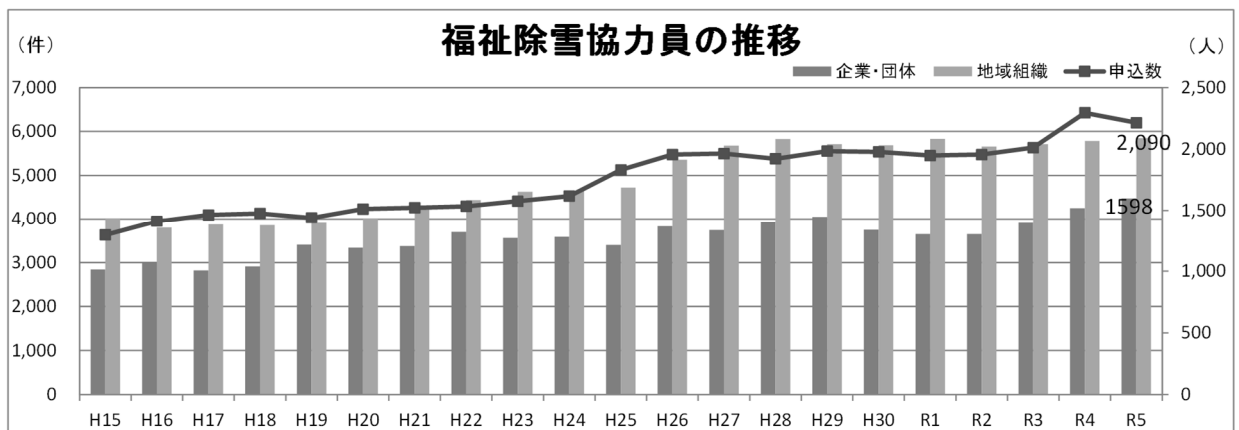
札幌市社会福祉協議会
地域福祉課

I 活動状況

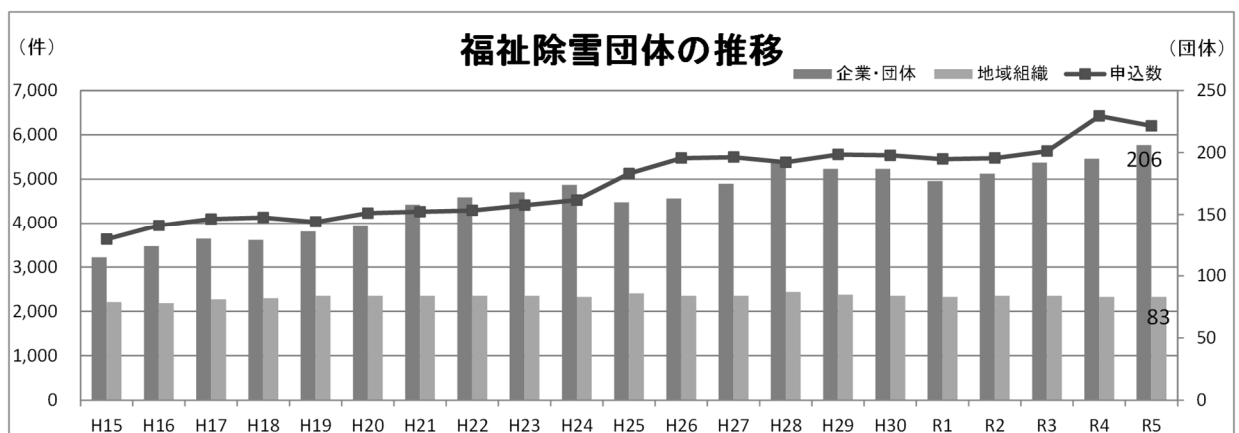
(1) 利用世帯



(2) 地域協力員



(3) 地域協力団体



- * 各グラフの申込数および福祉除雪申込・利用世帯の推移の利用者数は冬季支援世帯の件数は含まない。
- * 各回答の百分率は少数第2位を四捨五入しているため、個々の比率の合計が 100%にならない場合がある。
- * 利用世帯における申込数と利用数の差は、非該当(利用条件に合致せず利用不可となった世帯)や辞退(申込後、事業開始前に申請を取り下げた世帯)によるものである。

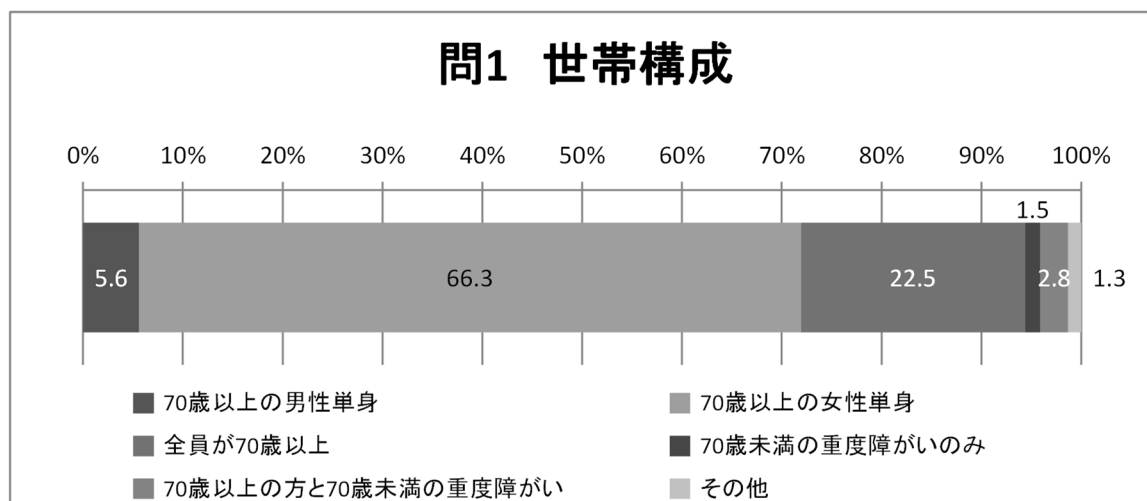
Ⅱ 利用世帯

利用世帯「5,850 世帯」から「900 世帯」を無作為抽出し、令和 6 年 3 月にアンケート調査を実施したところ、「674 世帯」から回答があった。（回収率 74.9%）。

1. あなたの世帯について

世帯構成（問 1）

「70 歳以上の女性単身世帯」が 66.4%と最も高い。また、「全員が 70 歳以上の世帯」の 22.5%と「70 歳以上の男性単身世帯」の 5.6%を合わせると 94.4%となり、利用世帯のほとんどが『70 歳以上のみの世帯』となっている。

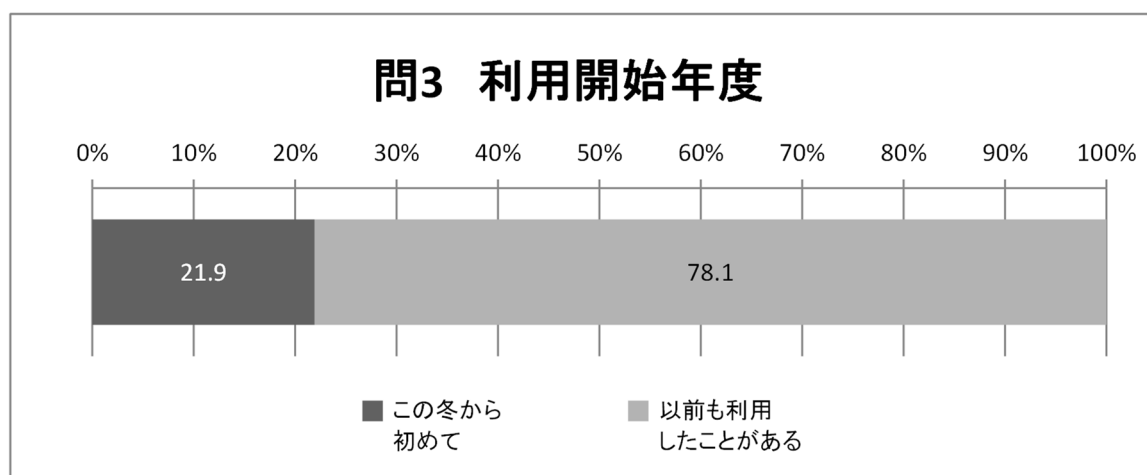


	70歳以上の男性単身	70歳以上の女性単身	全員が70歳以上	70歳未満の重度障がいのみ	70歳以上の方と70歳未満の重度障がい	その他	全体
R5	5.6%	66.3%	22.5%	1.5%	2.8%	1.3%	100.0%
R4	5.2%	68.4%	16.4%	2.7%	3.8%	3.6%	100.0%

2. 「福祉除雪」の利用について

（1）利用開始年度（問 3）

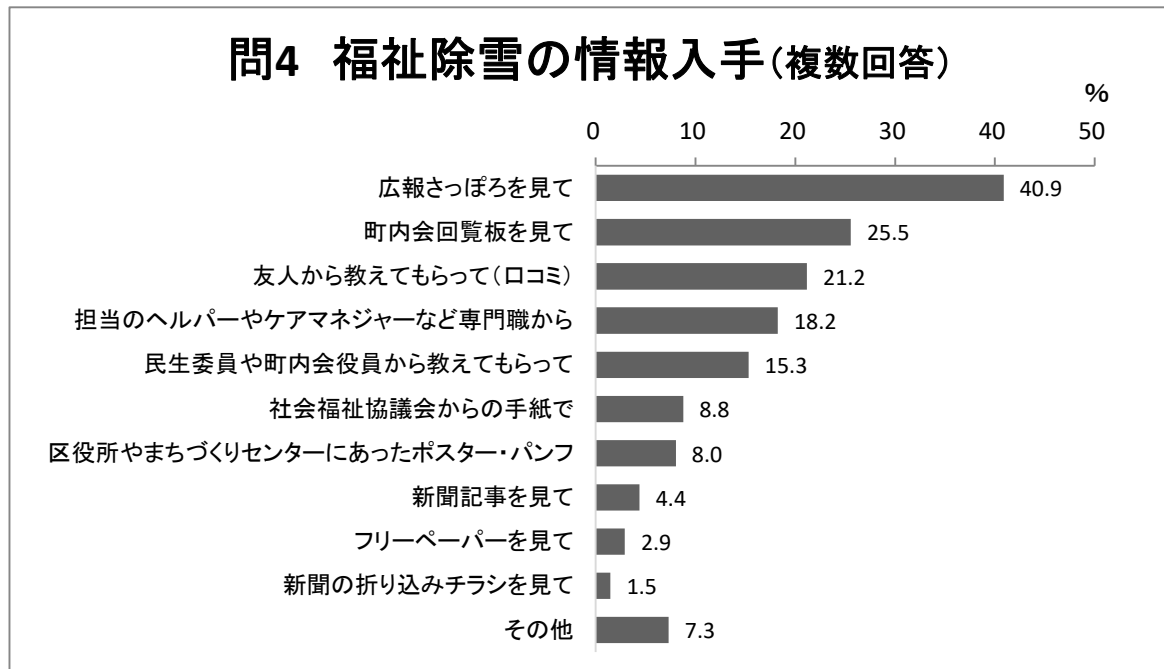
「この冬から初めて」が 21.9%と、新規利用者は約 2 割となっている。
また、前年度と比較すると「以前も利用したことがある」が 9.0 ポイント上昇している。



	この冬から初めて	以前も利用したことがある
R5	21.9%	78.1%
R4	30.9%	69.1%

(2) 福祉除雪を知ったきっかけ（問4、問3で「1 この冬から初めて」を選んだ人）

「広報さっぽろを見て」の40.9%が最も高く、次いで「町内会回覧板を見て」（25.5%）、「友人から教えてもらって（口コミ）」（21.2%）と続き、昨年度同様、市広報誌で情報を得たり、地域や身近な人から教えてもらったりするケースが多く見受けられた。また、「社会福祉協議会からの手紙で」も8.8%と、昨年度に比べて5.7ポイント増加している。

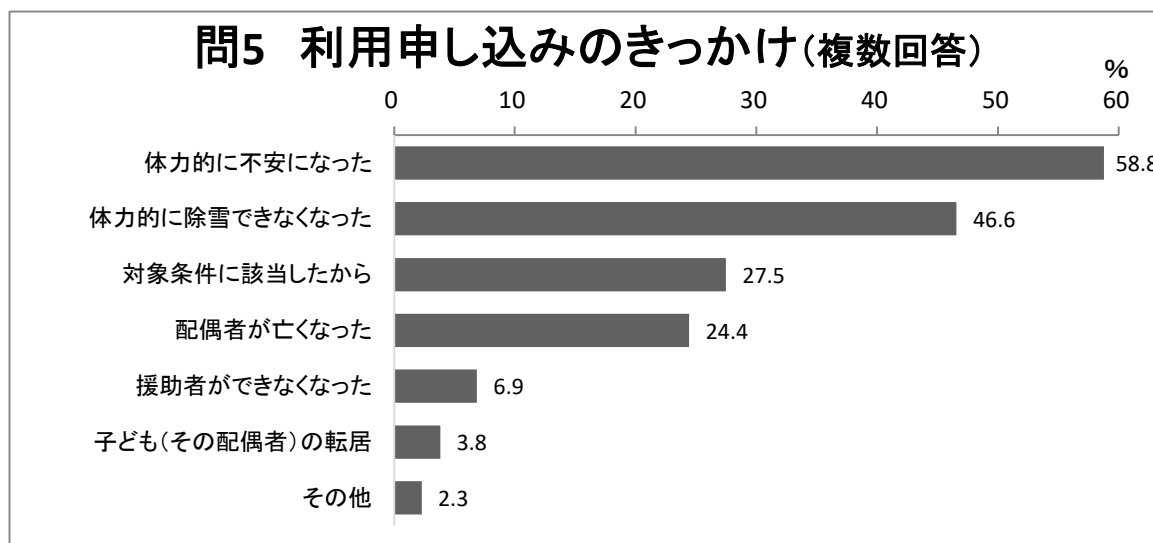


	R5	R4
広報さっぽろを見て	40.9%	40.3%
町内会回覧板を見て	25.5%	24.8%
友人から教えてもらって（口コミ）	21.2%	18.6%
担当のヘルパーやケアマネジャーなど専門職から	18.2%	17.1%
民生委員や町内会役員から教えてもらって	15.3%	17.8%
社会福祉協議会からの手紙で	8.8%	3.1%
区役所やまちづくりセンターにあったポスター・パンフ	8.0%	10.1%
新聞記事を見て	4.4%	3.9%
フリーペーパーを見て	2.9%	－
新聞の折り込みチラシを見て	1.5%	0.8%
テレビのニュースを見て	－	0.0%
ラジオを聴いて	－	0.0%
その他	7.3%	3.9%

(3) 利用開始のきっかけ（問5、問3で「1 この冬から初めて」を選んだ人）

「体力的に不安になった」が 58.8%、「体力的に除雪できなくなった」が 46.6%、と、『体力的な問題』で利用を開始した人が多く、約5割が回答している。

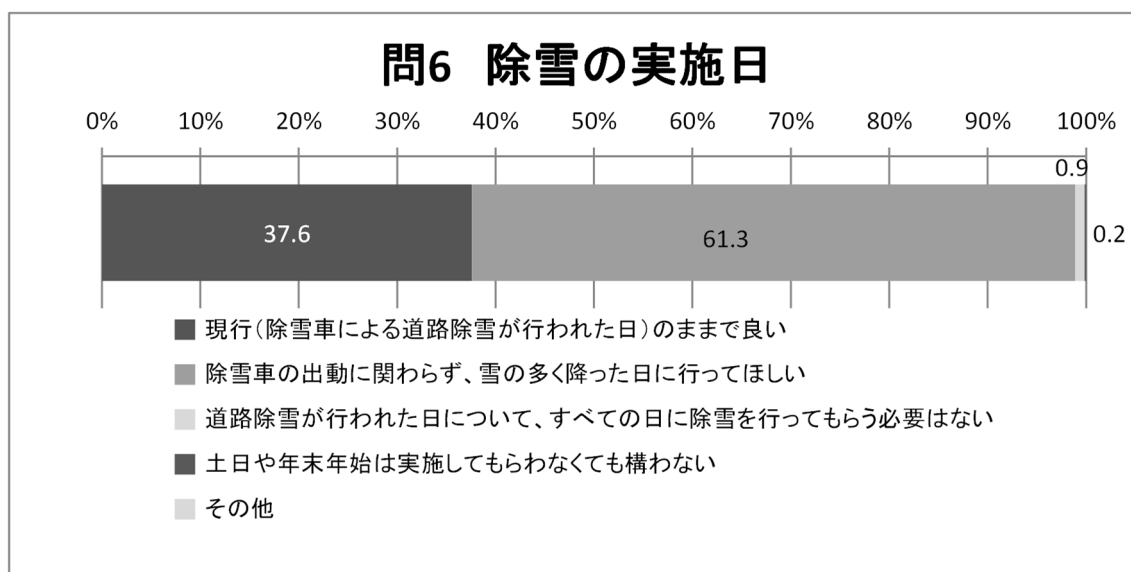
また、前年度と比較すると「体力的に除雪できなくなった」は 9.0 ポイント減少したのに対し「対象条件に該当したから」「配偶者が亡くなった」は、いずれも5ポイント以上増加している。



	R5	R4
体力的に不安になった	58.8%	54.8%
体力的に除雪できなくなった	46.6%	55.6%
対象条件に該当したから	27.5%	22.2%
配偶者が亡くなった	24.4%	19.0%
援助者ができなくなった	6.9%	7.9%
子ども（その配偶者）の転居	3.8%	2.4%
その他	2.3%	1.6%

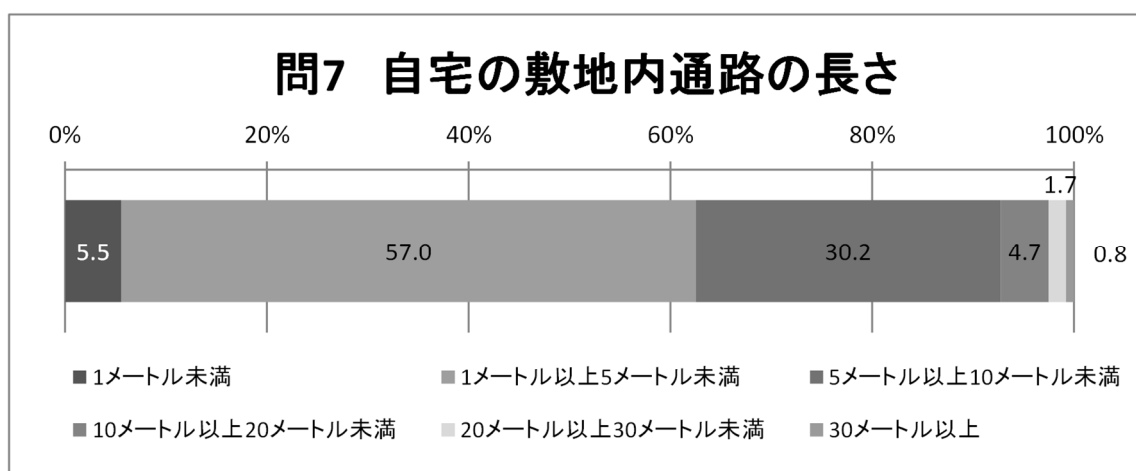
(4) 除雪の実施日（問6）

「除雪車の出動に関わらず、雪の多く降った日に行ってほしい」が 61.33%と、最も割合が高い。一方、「現行のままで良い」という回答は、約4割であった。



(5) 自宅の敷地内通路の長さ（問7）

「1メートル以上5メートル未満」の割合が最も高く57.0%、次いで「5メートル以上10メートル未満」が30.2%と、『10メートル未満』が9割を超えている。

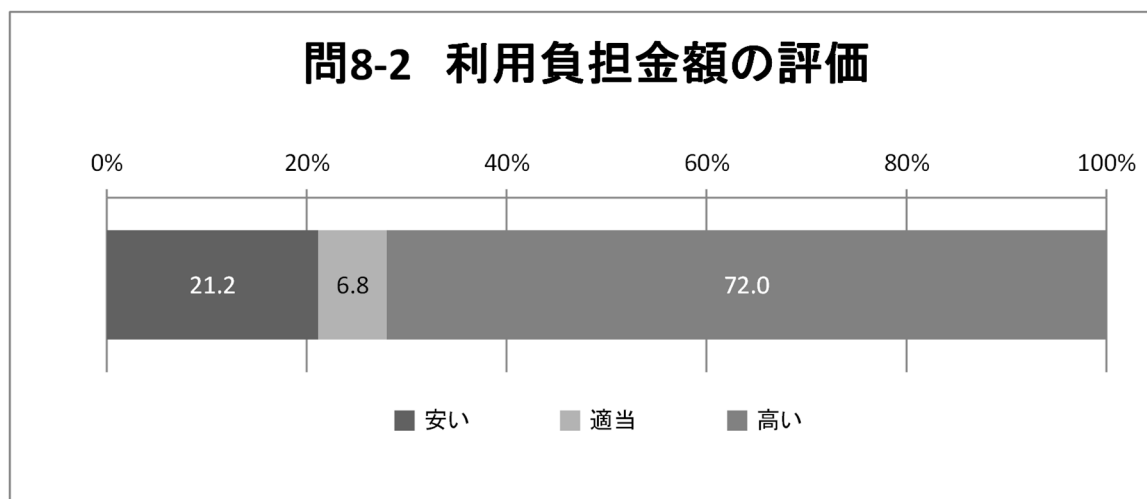


(6) 利用負担金額の評価等（問8-1、問8-2、問8-3、問8-4）

負担金額の区分別順位は、「非課税世帯」が73.1%と最も高く、次いで「課税世帯」(24.2%)、「生活保護世帯」(2.7%)となっている。また、前年度と比較すると、「無料」「非課税世帯」の割合が増加し、「課税世帯」の割合は減少している。

利用負担金額の評価では、「適当」が71.8%と、約7割が妥当な金額と評価している。一方、「安い」(22.5%)は、前年度に比べて5.4ポイント減少している。

	10,000円 (課税世帯)	5,000円 (非課税世帯)	無料 (生活保護世帯)	全体
R5	27.6%	70.3%	2.1%	100.0%
R4	24.2%	73.1%	2.7%	100.0%



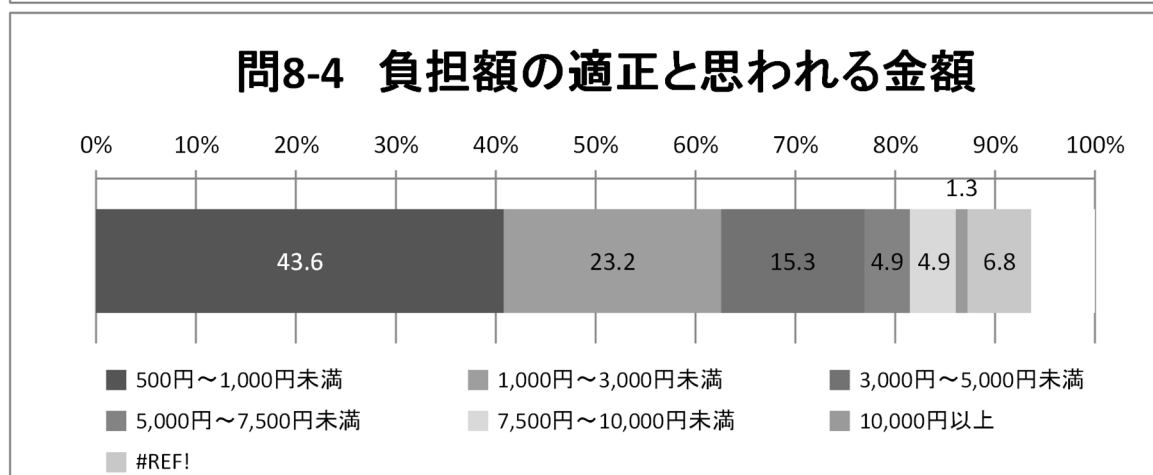
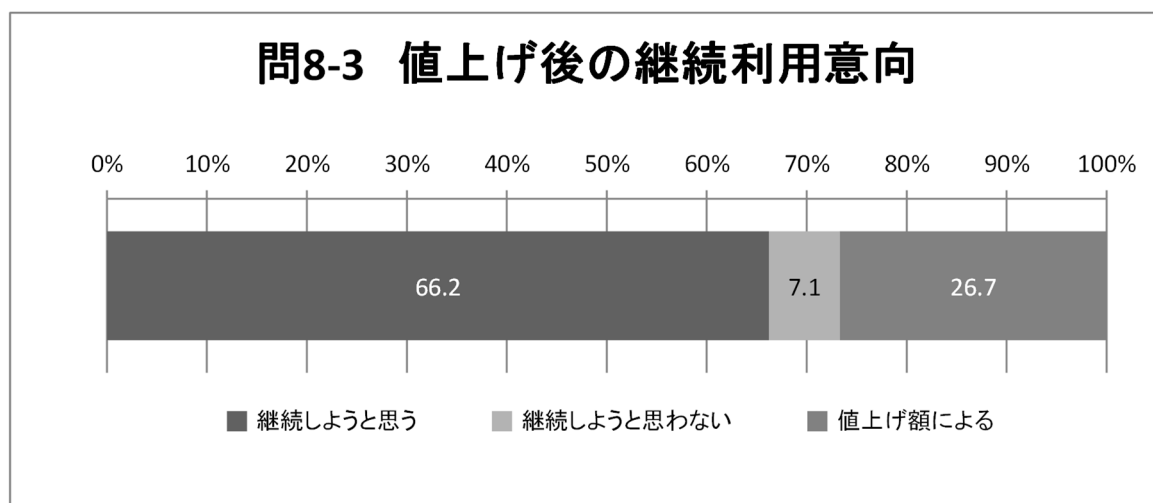
	安い	適当	高い	全体
R5	21.2%	6.8%	72.0%	100.0%
R4	22.5%	71.8%	5.6%	100.0%

課税世帯・非課税世帯別に、負担金額の各区分における利用負担金額の評価をみると、課税世帯・非課税世帯ともに「適正（いずれも72.0%）」の割合が最も高かった。

	安い	高い	適正	全体
10,000円 (課税世帯)	14.9%	13.1%	72.0%	100.0%
5,000円 (非課税世帯)	23.8%	4.2%	72.0%	100.0%

値上げ後の継続利用の意向について聞いたところ、「継続しようと思う」の割合が最も高く66.2%であった。

また、問8-2で「高い」または「安い」と回答した方に負担額の適正と思われる金額を聞いたところ、「500円～1,000円未満」の割合が最も高く43.6%、次いで「1,000円～3,000円未満」が25.0%と、約7割の方が『3,000円未満』が適正と思われると回答している。



適正と思われる金額を課税世帯・非課税世帯別にみると、いずれも「500円～1,000円未満」(課税世帯 38.5%、非課税世帯 49.5%)の割合が最も高かった。

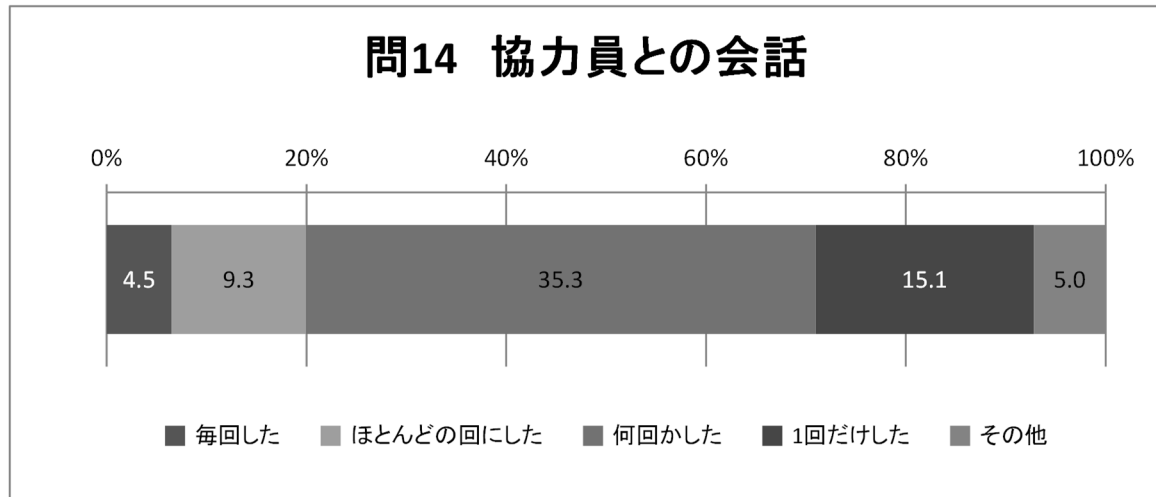
	5,000円～ 1,000円 未満	1,000円～ 3,000円 未満	3,000円～ 5,000円 未満	5,000円～ 7,500円 未満	7,500円～ 10,000円 未満	10,000円 以上	全体
10,000円 (課税世帯)	38.5%	22.9%	22.0%	4.6%	6.4%	5.5%	100.0%
5,000円 (非課税世帯)	49.5%	25.5%	14.6%	5.5%	4.9%	0.0%	100.0%

(5) 担当の地域協力員（問13、問14）

担当の地域協力員は、「近所の人だった」が53.7%と最も割合が高かった。

協力員との会話については、「毎回した」（4.5%）、「ほとんどの回にした」（9.3%）、「何回かした」（35.3%）を合わせると約5割を占めている。一方、協力員が早朝に作業していたなどの理由から「会話はしなかった」という回答も約3割あった。

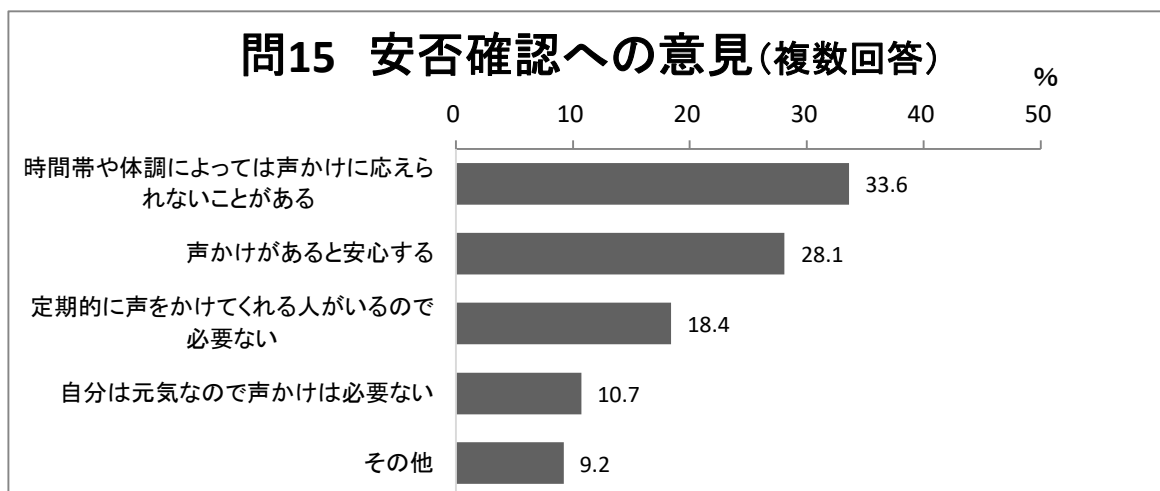
	近所の人 だった	近所の人で はなかった	近所の方が わからない	全体
R5	53.7%	6.9%	39.4%	100.0%
R4	48.9%	14.2%	36.9%	100.0%



	毎回した	ほとんどの 回にした	何回かした	1回だけし た	その他	会話はしな かった	全体
R5	4.5%	9.3%	35.3%	15.1%	5.0%	30.9%	100.0%
R4	4.9%	9.3%	40.9%	17.2%	27.7%	—	100.0%

（６）地域協力員による声かけ（安否確認）（問１５）

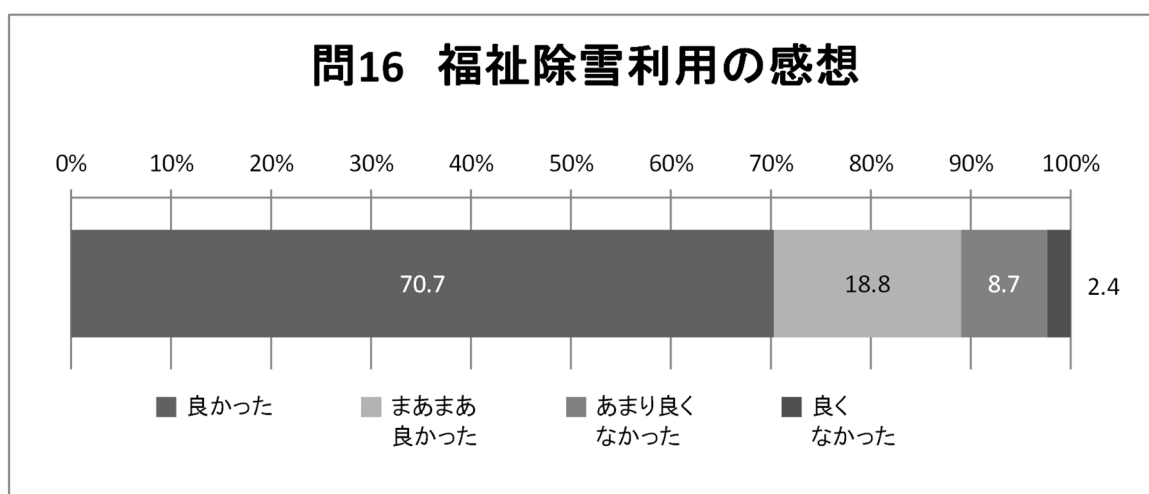
「時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある」が 33.6%と最も高く、次いで「声かけがあると安心できる」（28.1%）となっている。一方で、「定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない」（18.4%）、「自分は元気なので声かけは必要ない」（10.7%）など、『声かけは必要ない』とする回答や、「その他」には『二人暮らしなので不要』『早朝作業のため会ったことがない』などの回答も見受けられた。



	R5	R4
時間帯や体調によっては声かけに応えられないことがある	33.6%	38.4%
声かけがあると安心する	28.1%	31.8%
定期的に声をかけてくれる人がいるので必要ない	18.4%	21.1%
自分は元気なので声かけは必要ない	10.7%	9.7%
その他	9.2%	6.6%

（７）福祉除雪利用の感想（問１３）

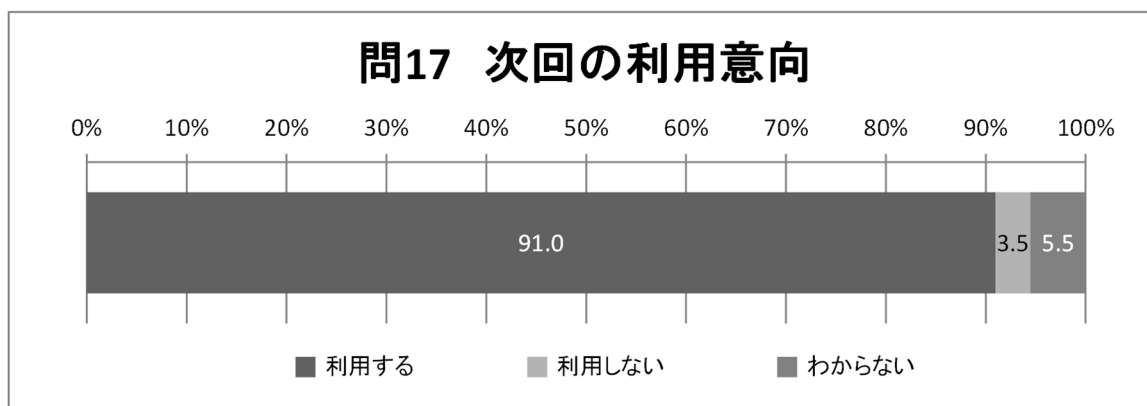
「良かった」が 70.7%と最も高く、「まあまあ良かった」（18.8%）と合わせると、全体の約 9割が『福祉除雪を利用して良かった』と感じている。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった
R5	70.7%	18.8%	8.7%	2.4%
R4	78.1%	12.6%	5.8%	3.5%

(8) 次回の利用意向 (問 17)

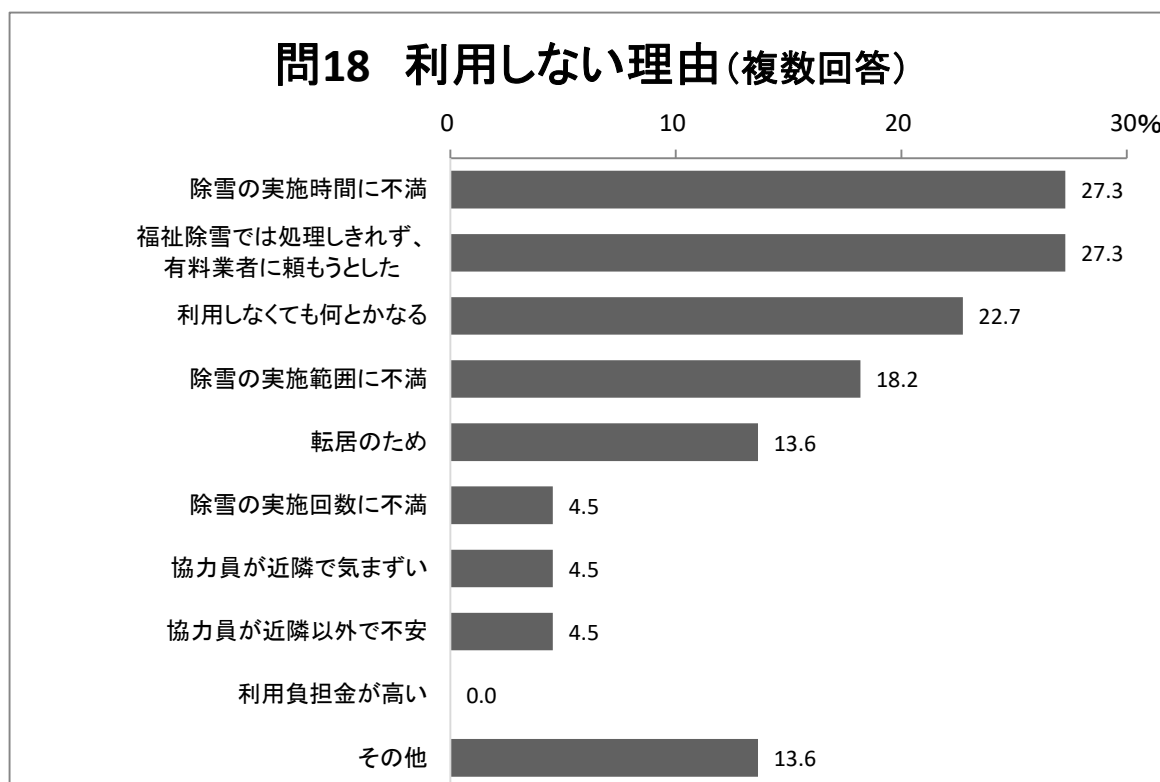
「利用する」が91.0%と、約9割を占めている。また、前年度と比較すると「利用しない」が増加し、「わからない」が減少している。



	利用する	利用しない	わからない	全体
R5	91.0%	3.5%	5.5%	100.0%
R4	91.2%	2.1%	6.7%	100.0%

(9) 継続利用しない理由 (問 18)

回答件数は 22 件と少なかったが、内訳としては「除雪の実施時間に不満」「福祉除雪では処理しきれず、有料業者に頼もうとした」の割合が最も高く 27.3%、次いで「利用しなくても何とかなる (22.7%)」「除雪の実施範囲に不満 (18.2%)」「転居のため (13.6%)」の順となっている。



(10) 福祉除雪についての意見(改善点) (問19)

主な意見抜粋

回答者数合計 395 件(無回答・「特になし」を除く)

項目	内容	件数
感謝・ 継続利用	配偶者死亡に依り、締め切り急ぎよ申し込み致しました。担当部署、町内会並びに協力員さんに迅速に対応して頂き、心から感謝申し上げます。お陰様で、無事冬を乗り越えることができました。	262
	非常にありがたいと思っております。なくなったら生活できません。少しでも長く続けてほしいです。よろしくお願いします。	
	車がないので現状通りで本当にありがたい。除雪メモ紙に一言あるのが嬉しかった。毎回の一言メモ、吹雪の時など申し訳ないですが心があたたまりました。	
	朝起きた時玄関前が除雪して頂いているとゴミ出しも楽です。大変助かっています。ありがとうございます。	
改善・ 要望	除雪に関しては大変ありがたいと思っています。除雪車が通った後の固い雪を除いて頂けるのは助かります。ただ、6 時前後には除雪が終了しているため顔を合わせる事はありません。安否確認ありません。どのような人物が住んでいるのか判ってもらえたら安心かなと思います。なかなか難しいでしょうが、最初に一度声掛けして頂けたら、と思います。	65
	とても助かっていますが、今年度より市の除雪車が階段下や車庫下に雪の塊を置いて行かれますと、力がないので動かせることができないのです。昨年まではこの様な事がなかったように思っていますので、よろしくお願いします。	
	除雪車の出勤にかかわらず続けて大雪の場合は行ってほしい。ゴミステーションにゴミをだしに行けない場合がある。玄関の雪を除雪した時、道路に面する雪を除いてほしい。	
除雪時間 や回数	あまり早いと朝降った時に困りました。除雪車の出勤に関わらず、24 時間(降雪 10cm 以上)に対応してもらえると、さらによいサービスだと思います。サービス内容が充実するなら料金(負担金)が上がるのは、良いと思います。	51
	他のお宅はきれいに除雪が済んでいるのに、福祉除雪に来てくれる時間が 10 時前後でおそいと感じる。利用負担金がもう少し(3000~5000 円)多くなっても良いので、2m 程度除雪してほしい。	
	夜中除雪に入るが、朝方まで雪が降り、30~40cm くらいまで積もる時があり、吹き溜まりや除雪の後の堅い雪で大変な時があります。人手不足は分かりますが、もう少し相手の立場に寄り添って除雪していただければ大変ありがたいです。宜しくお願い致します。	
除雪内容 に疑問	今年は初めて業者の方でしたが、2 月に入ってから除雪車が入らず、降雪のない時にポストに黄色い紙が入っていたことが有りました。以前は近所の方が、除雪時は必ず来てきれいにしてくれました。年々体力が落ち、除雪は大変になってますのでこれからも宜しくお願い致します。	20
	雪を捨てる場所など適切ではなく、一度電話で捨てる場所の確認をお願いし、現場に担当の方(福祉の方)が来て下さったのですが、以前と何も変わりませんでした。除雪される方も何軒もの掛け持ちで大変なのだろうと思い、これ以上お願いしても無駄なのかな?と思い諦めました。	
除雪範囲	今年は思いがけずに雪かきありがとうございました。体調崩して思うように歩けなくなり、不安な時間もありましたが、今では何とか歩けるようになりました。感謝しています。玄関の前から除雪してくれると助かります。段差が見えなくて困っていました。	18
	今年初めて利用させていただきました。公道まで少し距離があるので大変助かりました。ただもう少し深く除雪していただけたらと思ったこともあります。ぬかって足をくじきそうになりましたので。とはいえ、ありがたく思っています。助かりました。	
その他	今以上に利用範囲の条件が厳しくなるのでは・・・と不安がある。(例えば要支援者以上とか・・・)	16
	体調を見定めながら、お願いするか判断したい。	

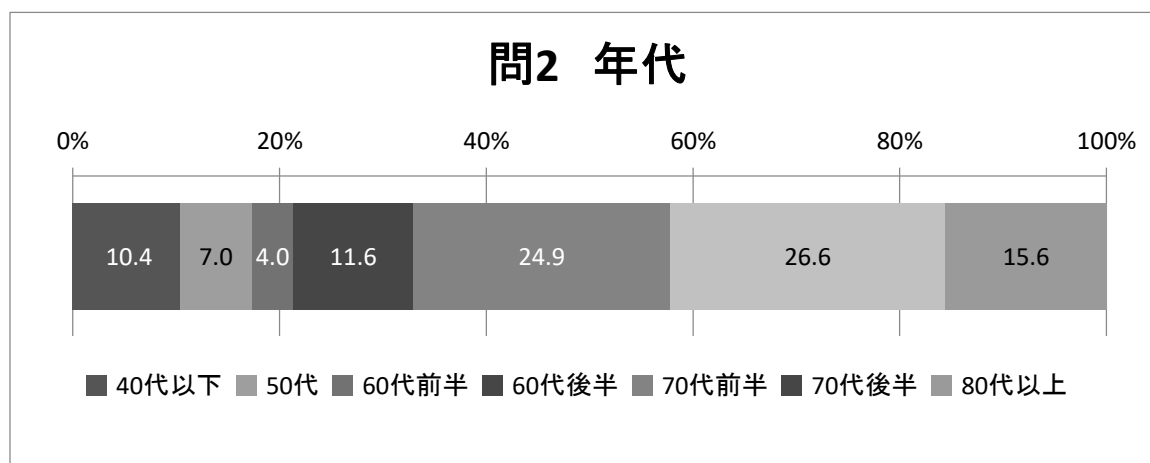
Ⅲ 地域協力員

地域協力員のうち、地域組織（主に利用者の近隣住民）の協力員（個人）「2,090 人」の中から「1,115 人※」を無作為抽出し、アンケート調査を実施したところ、「855 人」から回答があった。（回収率 76.7%）（※西区在住の協力員 281 人、その他の区在住の協力員 834 人）

1. 自身のことについて

（1）性別・年代（問1、問2）

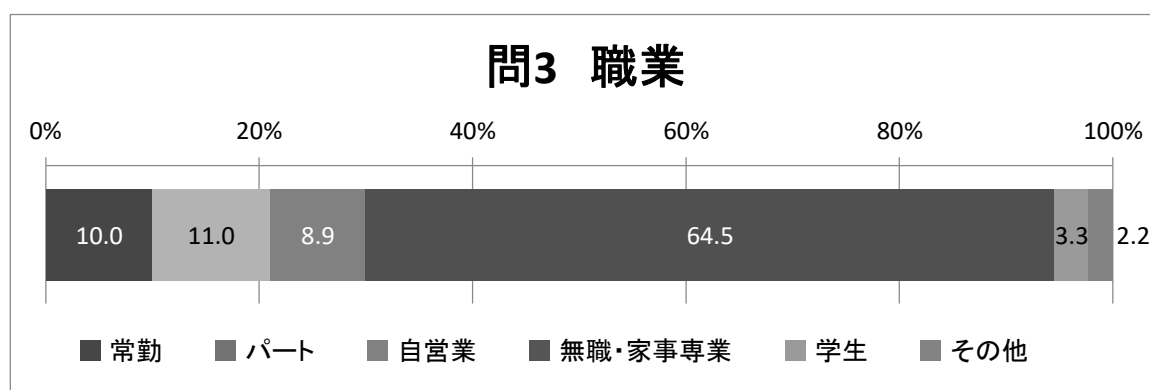
性別は、「男性」が 88.3%と約 9 割を占めている。年代は、『60 代後半以上』が 78.7%と約 8 割を占めている。また、前年度と比較すると、70 代は合計で 7.6 ポイント減少している。



	40代以下	50代	60代前半	60代後半	70代前半	70代後半	80代以上	全体
R5	10.4%	7.0%	4.0%	11.6%	24.9%	26.6%	15.6%	100.0%
R4	10.8%	3.5%	4.1%	9.2%	29.1%	30.1%	13.2%	100.0%

（2）職業（問3）

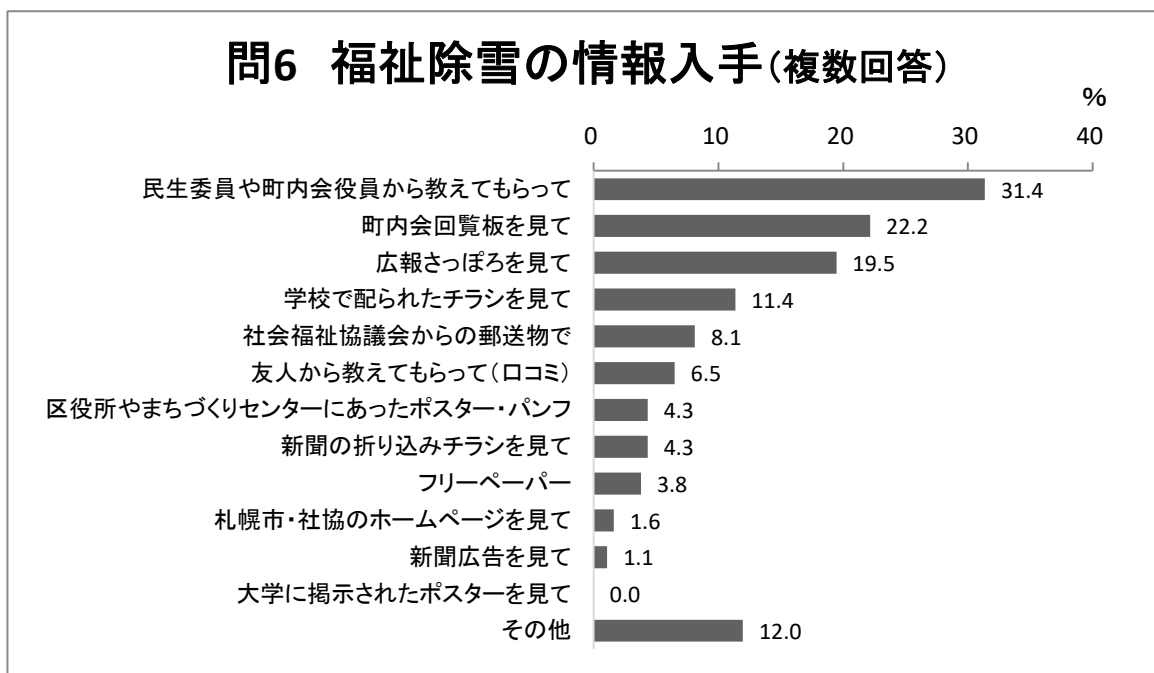
職業は、「無職・家事専業」が 64.5%と約 6 割を占めている。また、前年度と比較すると、「無職・家事専業」が 4.7 ポイント減少しているのに対し、「常勤」「パート」「自営業」はいずれも増加している。



	常勤	パート	自営業	無職・家事専業	学生	その他
R5	10.0%	11.0%	8.9%	64.5%	3.3%	2.2%
R4	9.9%	9.5%	7.1%	69.2%	—	4.2%

（３）協力開始年度および福祉除雪情報の入手先（問５、問６）

協力員としての活動開始時期について、「（令和５年度）以前にも協力していた」が76.4%と、約８割を占めている。また、「この冬から初めて（令和５年度から）」と回答した方に福祉除雪の情報の入手先を聞いたところ、「民生委員や町内会役員から教えてもらって」の割合が最も高く31.4%、次いで「町内会回覧板を見て（22.2%）」、「広報さっぽろを見て（19.5%）」の順となっている。

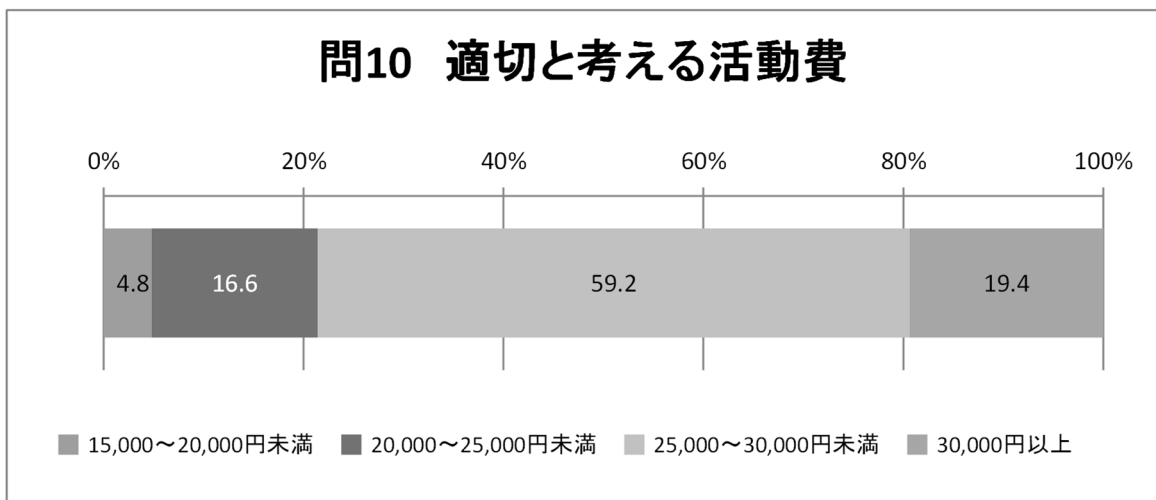
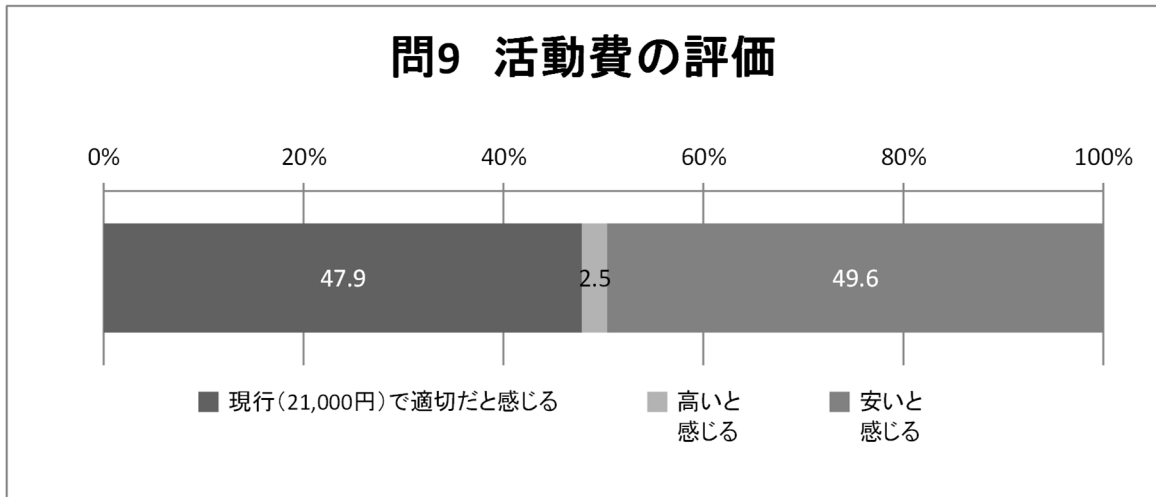


2. この冬の福祉除雪活動について

(1) 活動費の評価等（問9、問10）

「現行（21,000円）で適切と感じる（47.9%）」と「安いと感じる（49.6%）」が、それぞれほぼ半数となっている。

また、問10で「高いと感じる」または「安いと感じる」と回答した方に、適切と考える活動費を尋ねたところ、「安いと感じる」方は「25,000円～30,000円未満」の割合が最も高く62.1%、「高いと感じる」方は、「15,000円～20,000円未満」の割合が100.0%であった。

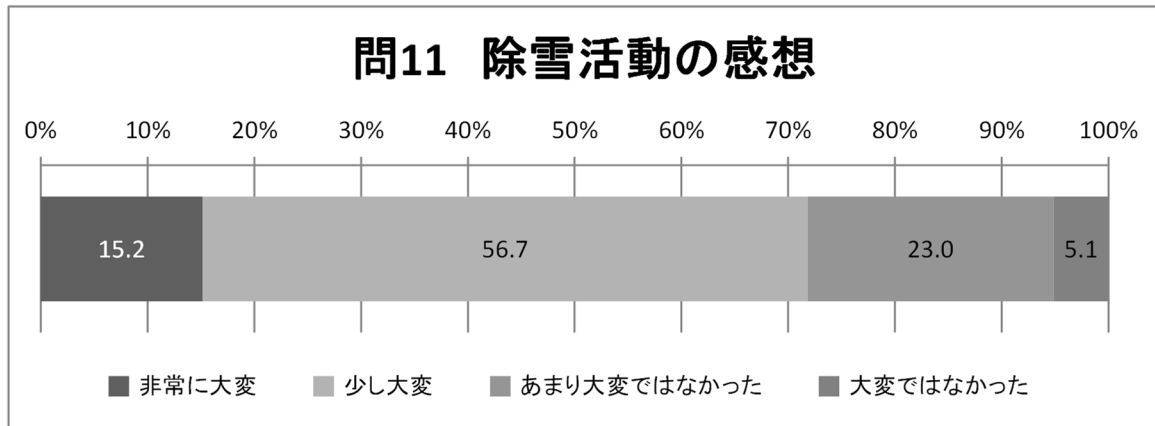


	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円 以上	全体
高いと 感じる	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
安いと 感じる	0.2%	17.4%	62.1%	20.3%	100.0%

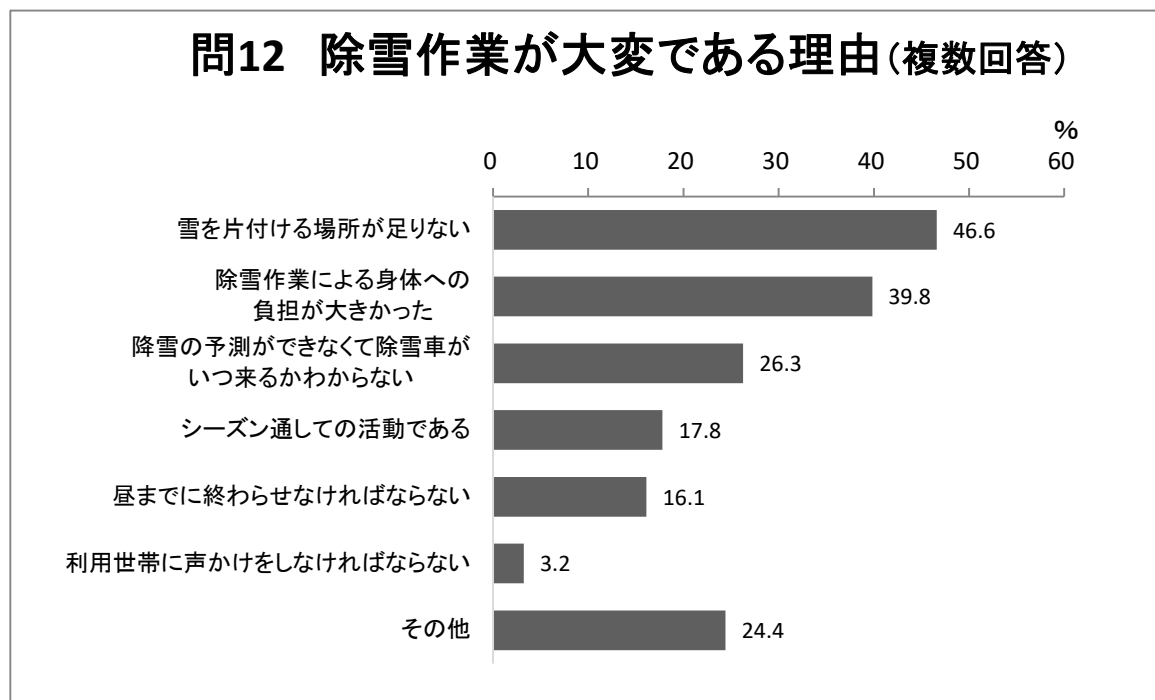
（２）除雪活動の負担感（問１１、問１２、問１４）

「少し大変（56.7%）」「非常に大変（15.2%）」と、約 7 割が大変であったと回答している。

「除雪作業が大変」である理由としては、「雪を片付ける場所が足りない（46.6%）」、「除雪作業による身体への負担が大きかった（39.8%）」「降雪の予測ができなくて除雪車がいつ来るかわからない（26.3%）」などが多く挙げられた。



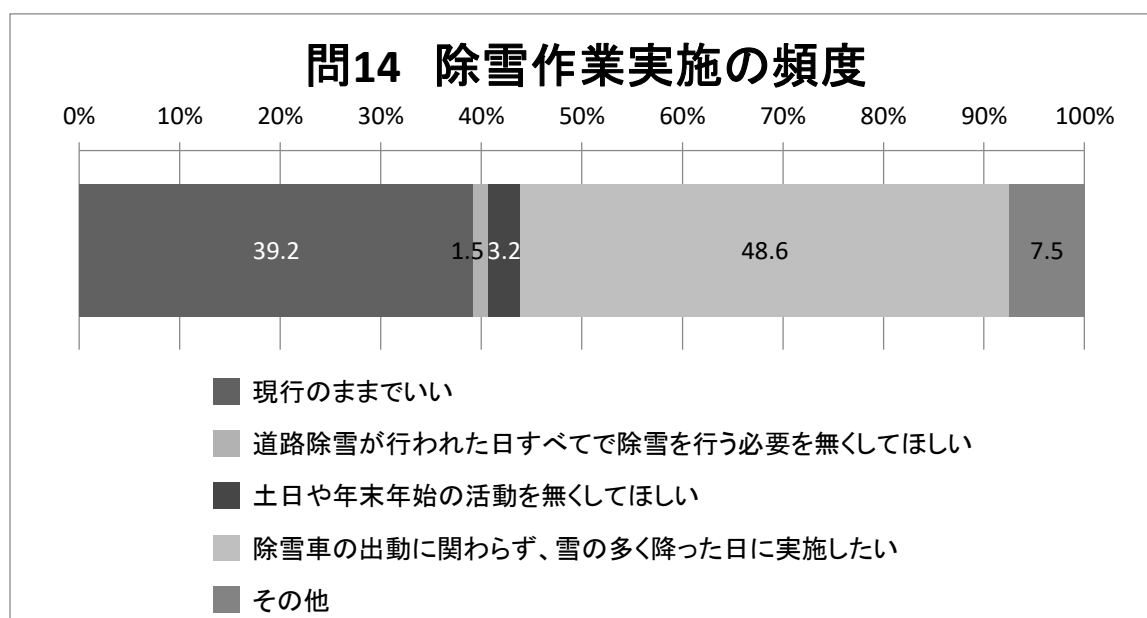
	非常に大変	少し大変	あまり大変ではなかった	大変ではなかった	全体
R5	15.2%	56.7%	23.0%	5.1%	100.0%
R4	15.5%	72.5%	-	12.0%	100.0%



また、「適切と考える活動費（問１０）」別にみると、いずれの項目においても「25,000円～30,000円未満」が最も多く挙げられた。

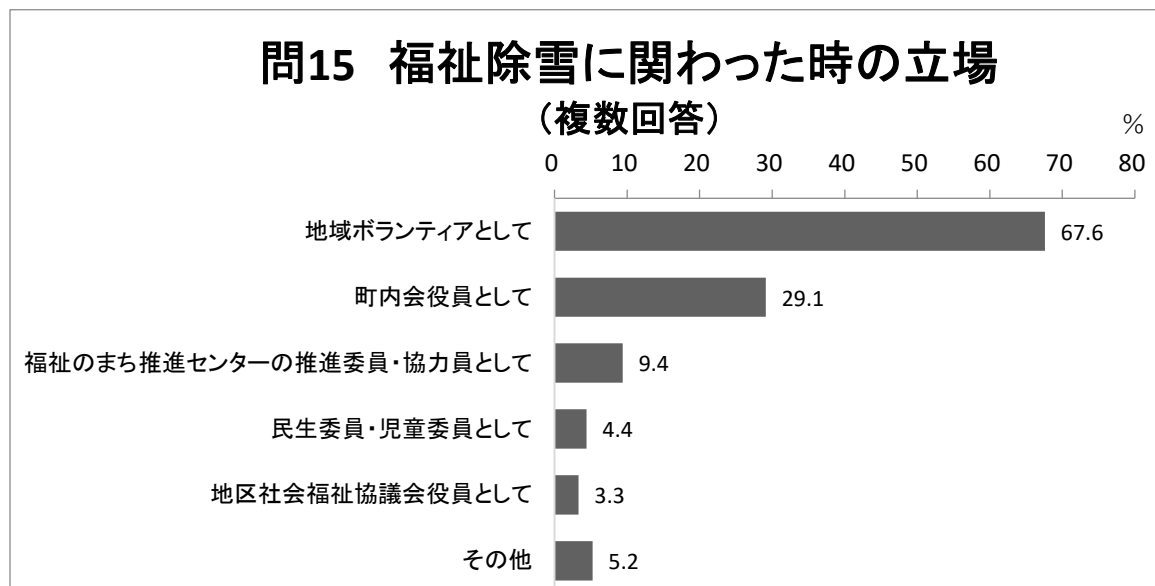
	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円 以上
除雪作業による身体 への負担が大きかった	1.3%	19.0%	57.6%	22.2%
雪を片付ける 場所が足りない	1.7%	16.2%	60.1%	22.0%
屋までに終わらせ なければならない	1.7%	10.3%	65.5%	22.4%
降雪の予想が出来なくて 除雪車がいつ来るか分からない	1.0%	13.1%	66.7%	19.2%
利用世帯に声かけを しなければならない	0.0%	22.2%	66.7%	11.1%
シーズン通しての 活動である	0.0%	14.1%	57.7%	28.2%
その他	7.8%	16.9%	51.9%	23.4%

また、除雪作業実施の頻度（問１４）を尋ねたところ、「除雪車の出動に関わらず、雪の多く降った日に実施したい」の割合が最も高く、48.6%であった。



(3) 協力の立場（問15）

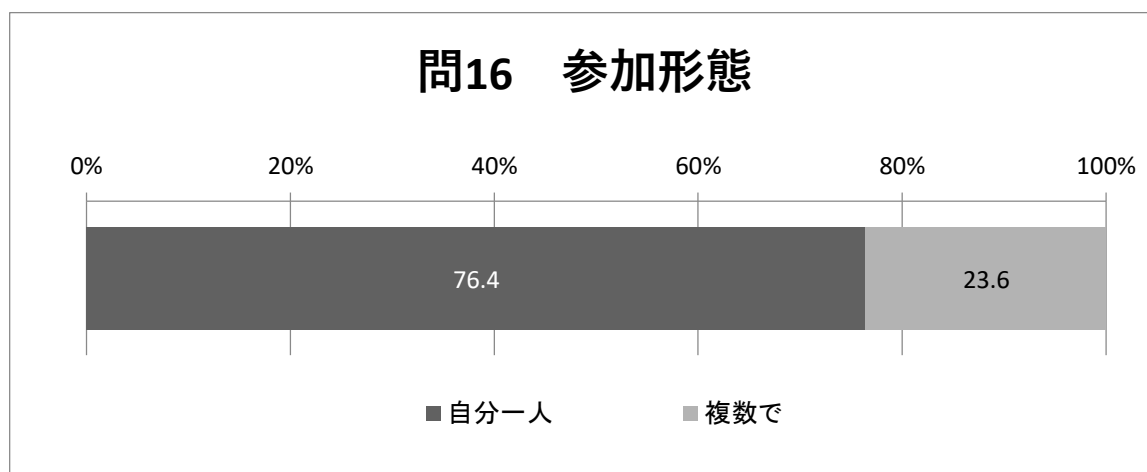
「地域ボランティア（近隣住民）」の立場で協力している人が 72.6%と、約 7 割を占めている。他には、「町内会役員」が 26.0%、「福まち推進委員・協力員」が 9.9%となっている。
また、前年度と比較すると、「地域ボランティア（近隣住民）」の割合が増加している。



	R5	R4
地域ボランティアとして	67.6%	72.6%
町内会役員として	29.1%	26.0%
福祉のまち推進センターの推進委員・協力員として	9.4%	9.9%
民生委員・児童委員として	4.4%	5.6%
地区社会福祉協議会役員として	3.3%	2.0%
その他	5.2%	5.6%

(4) 参加形態（問16）

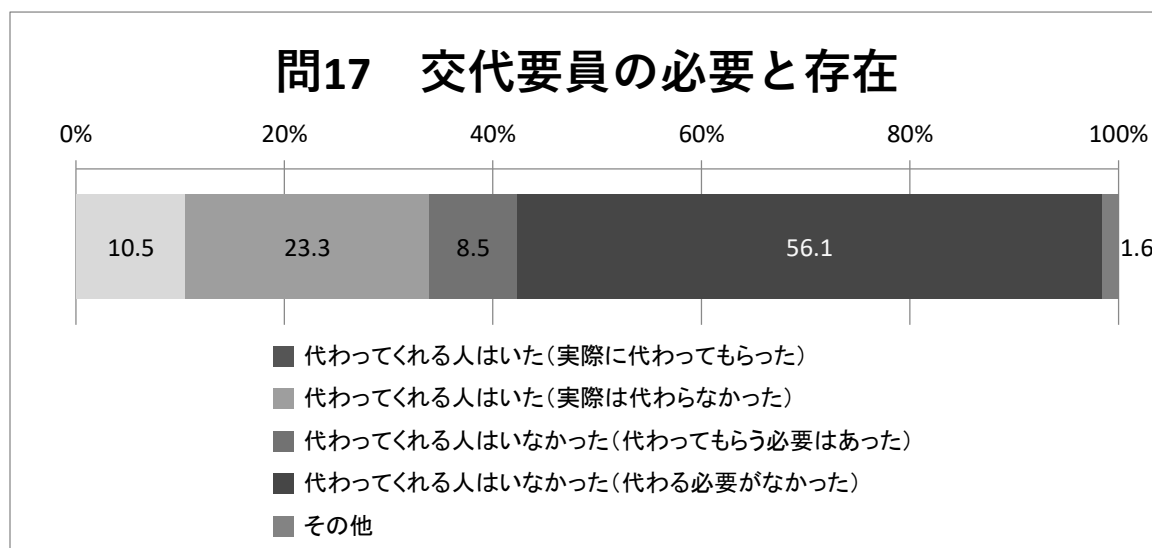
「自分一人」で参加した人が 76.4%と、約 8 割を占めている。



	自分一人	複数で	全体
R5	76.4%	23.6%	100.0%
R4	81.6%	18.4%	100.0%

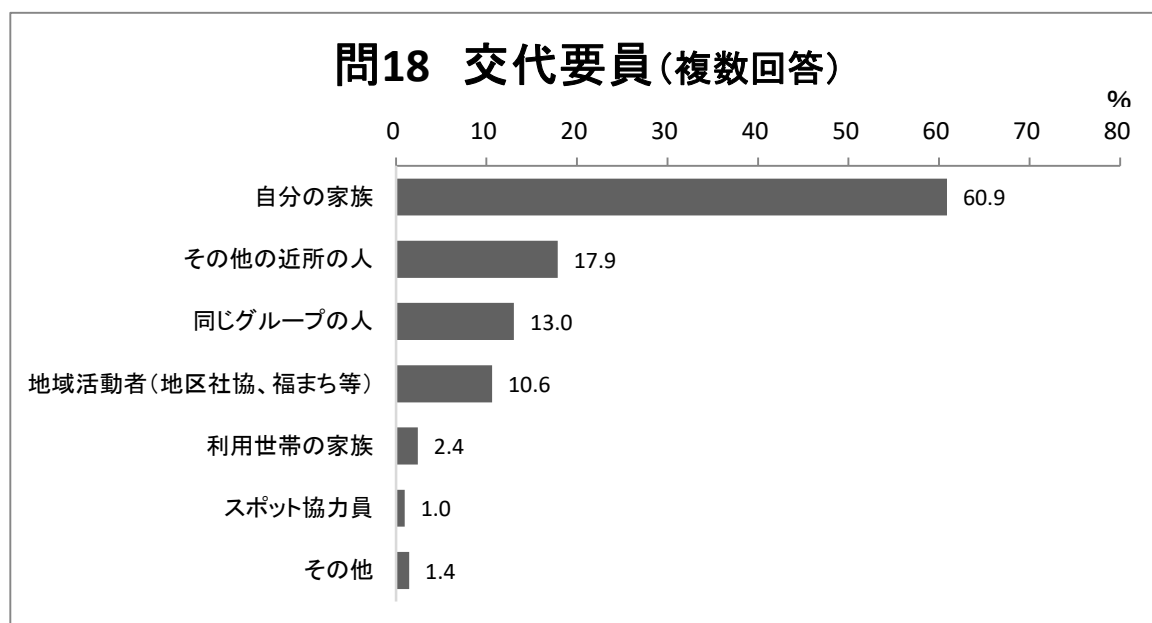
(5) 交代要員の必要性和存在（問17、問18）

交代要員の「いた」人（「代わってもらふ必要があり、実際に代わってもらった」「必要はないが、代わってもらえる人はいた」）は33.8%と、約3割であった。一方で、「必要はあったが、代わってもらえる人はいなかった」は8.5%となっている。



交代要員の多くは「自分の家族」で、約6割に上る。次いで「その他の近所の人（17.9%）」「同じグループの人（13.0%）」であった。

また、前年度と比較すると、「自分の家族」と回答した人の割合が10.9ポイント減少したのに対し、「その他の近所の人」「同じグループ」と回答した人の割合が9.3ポイント増加している。

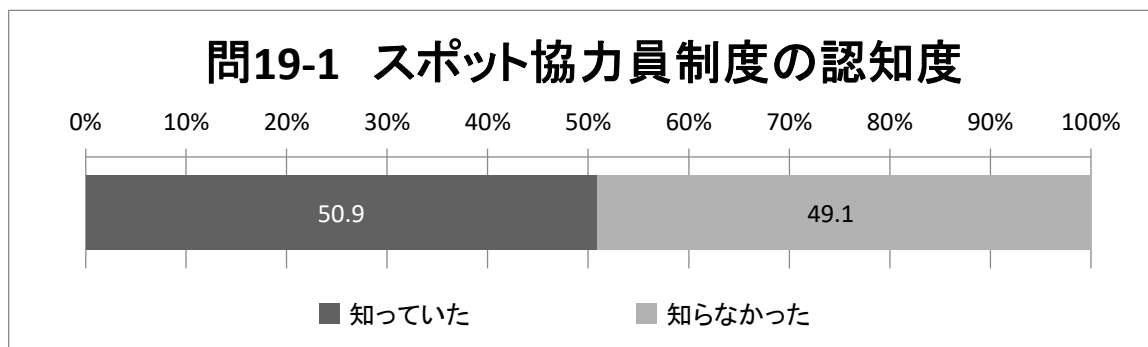


	R5	R4
自分の家族	60.9%	71.8%
その他の近所の人	17.9%	13.1%
同じグループの人	13.0%	8.5%
地域活動者（地区社協、福まち等）	10.6%	-
民生委員・児童委員	-	1.4%
福祉のまち推進センターの委員	-	2.3%
利用世帯の家族	2.4%	0.5%
スポット協力員	1.0%	-
町内会の役員	-	15.5%
その他	1.4%	1.4%

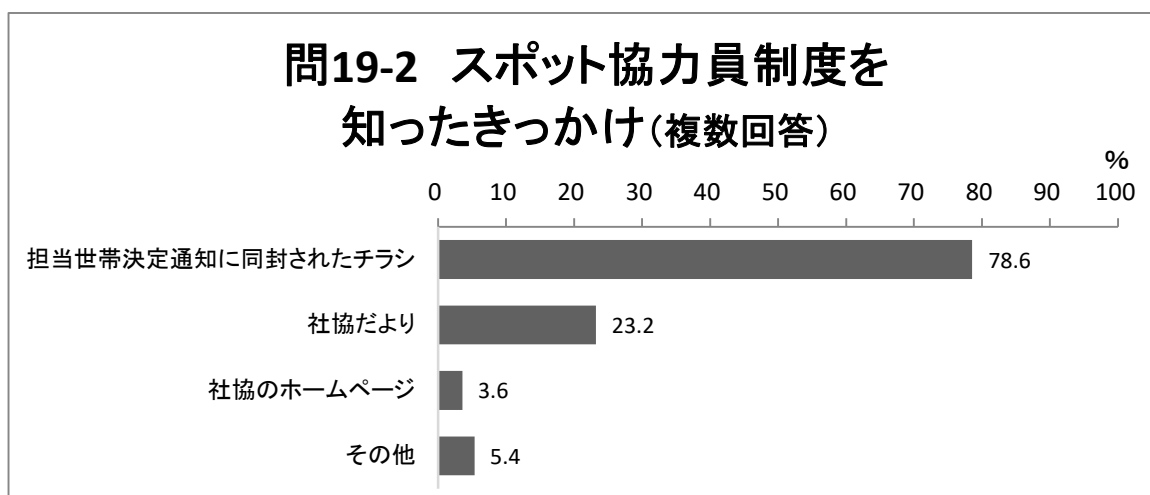
(6) スポット協力員制度

令和5年度、西区にてスポット支援制度（通常の協力員が活動できない時に、スポット協力員として登録している人に一時的に活動してもらい、活動費を支払う制度）をモデル実施した。

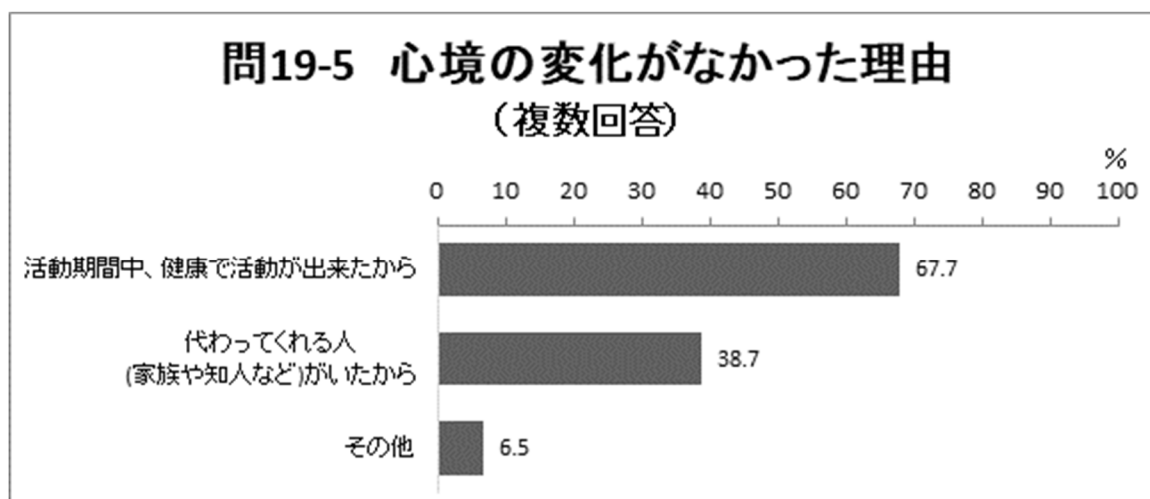
そこで、「西区在住の協力員のうち、202名の回答者」を対象にスポット協力員についての質問を行った。制度の認知度については、50.9%が「スポット協力員制度を知っている」と回答した。



スポット協力員制度を知ったきっかけは「担当世帯決定通知に同封されたチラシ」の割合が最も高く78.6%、次いで「社協だより（23.2%）」「社協のホームページ（3.6%）」の順となっている。

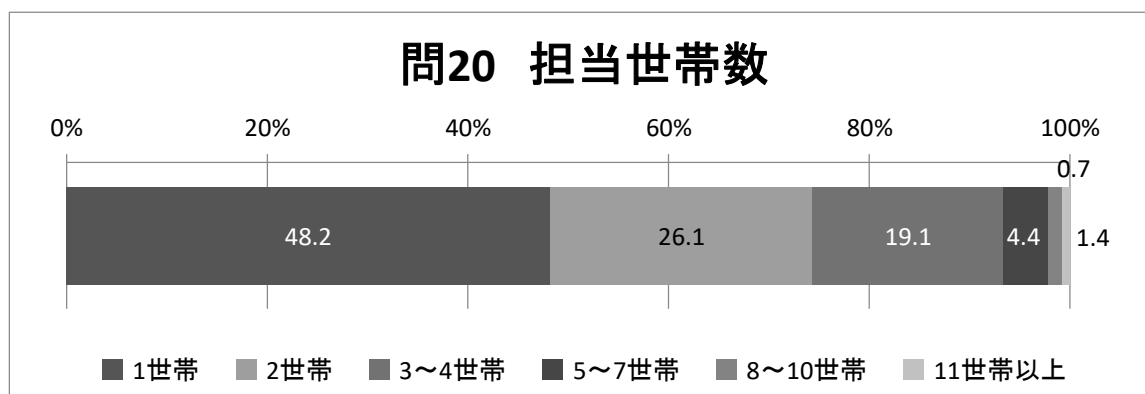


スポット協力員による心境の変化は、「安心した」が39.2%、「特に変わらなかった」が60.8%であった。「特に変わらなかった」と回答した方に理由を聞いたところ、「活動期間中、健康で活動が出来たから」の割合が最も高く67.7%、「代わってくれる人（家族や知人など）が居たから」が38.7%であった。



(7) 担当世帯数（問20）

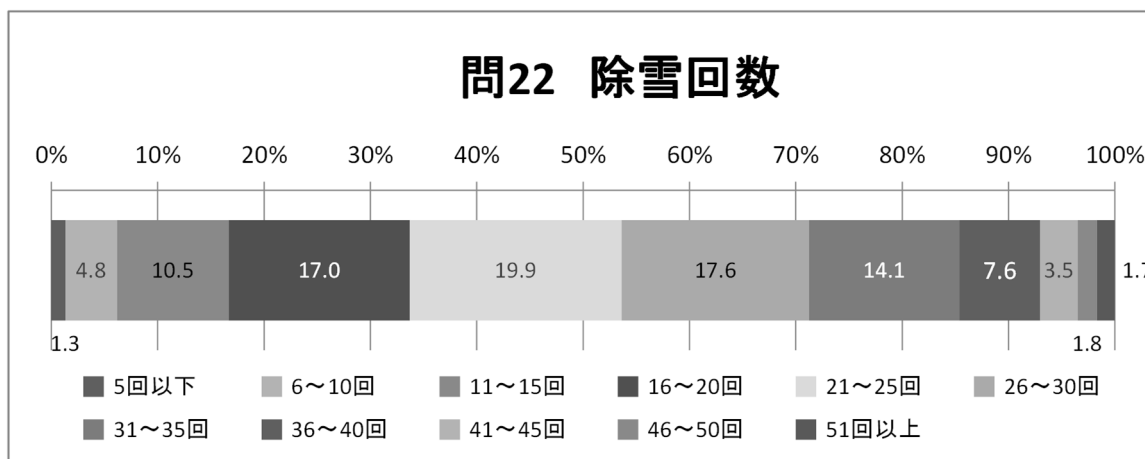
「1世帯」が48.2%と、約半数を占めている。また、前年度と比較すると、「2世帯」「8～10世帯」の項目で、割合が増加している。



	1世帯	2世帯	3～4世帯	5～7世帯	8～10世帯	11世帯以上	全体
R5	48.2%	26.1%	19.1%	4.4%	1.4%	0.7%	100.0%
R4	48.9%	24.5%	19.7%	4.8%	0.8%	1.2%	100.0%

(8) 除雪回数（1世帯あたり平均）（問22）

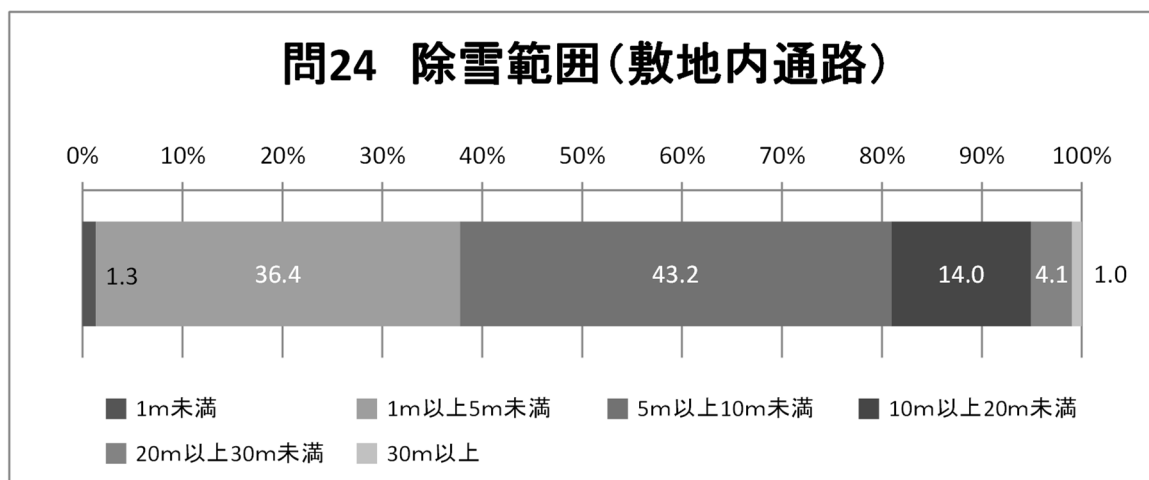
「21～25回」が19.9%と最も高く、次いで「16～20回」（17.0%）、「26～30回」（17.6%）、「16～20回」（17.0%）、「31～35回」（14.1%）であった。特に『21回以上』は66.3%と、全体の約7割となっている。



	5回以下	6～10回	11～15回	16～20回	21～25回	26～30回	31～35回	36～40回	41～45回	46～50回	51回以上	全体
R4	1.0%	5.1%	13.0%	18.1%	19.5%	16.6%	11.2%	8.3%	3.7%	1.6%	2.0%	100.0%
R3	2.2%	2.7%	8.4%	15.5%	19.2%	20.4%	11.6%	9.9%	4.7%	3.0%	2.5%	100.0%

(9) 除雪範囲（敷地内通路）（問24）

「5m以上10m未満」の割合が最も高く43.2%、次いで「1m以上5m未満」が36.4%であった。また、『10m以上』は19.2%と、全体の約2割であった。



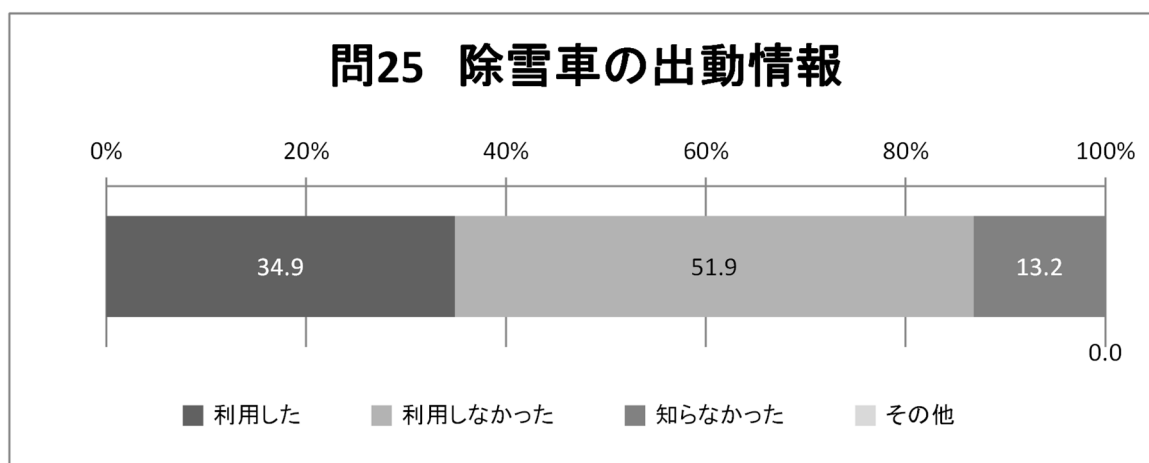
「適切な活動費（問10）」別にみると、「30m以上」を除く全ての項目において「25,000円～30,000円未満」と回答する割合が最も高かった。

	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円以上	全体
1m未満	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	100.0%
1m以上 5m未満	3.1%	15.6%	63.8%	17.5%	100.0%
5m以上 10m未満	5.4%	15.7%	57.8%	21.1%	100.0%
10m以上 20m未満	9.0%	20.9%	53.7%	16.4%	100.0%
20m以上 30m未満	0.0%	17.4%	65.2%	17.4%	100.0%
30m以上	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	100.0%

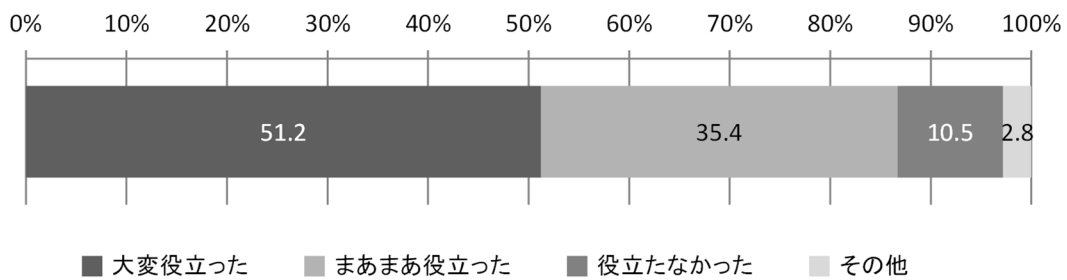
(10) 除雪車出動情報の活用（問25、問26）

除雪車の出動情報を「利用した」と回答した方の割合は33.2%と、約3割であった。

利用の評価については、「大変役に立った」と「まあまあ役に立った」を合わせて81.4%と、約8割が『役立った』と回答している。



問26 除雪車の出動情報の評価



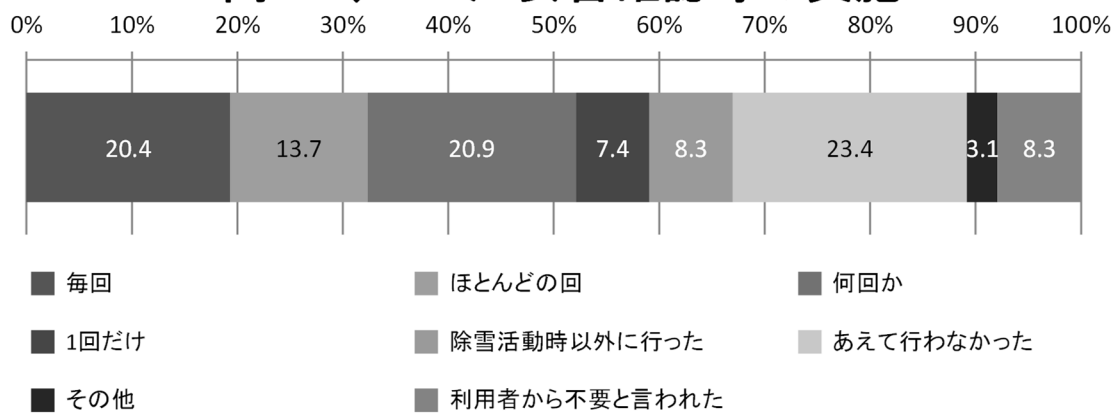
	大変役立った	まあまあ役立った	役立たなかった	その他	全体
R5	51.2%	35.4%	10.5%	2.8%	100.0%
R4	38.5%	42.9%	14.9%	3.7%	100.0%

(11) 声かけ・安否確認(問29)

「何回か」(20.9%)、「毎回」(20.4%)、「ほとんどの回」(13.7%)を合わせた『日常的な声かけ』は55.0と、約6割であった。

一方、早朝作業などを理由に「あえて行わなかった」(23.4%)、「利用者から不要と言われた」(8.3%)など、約3割が声かけ・安否確認を行わなかった。

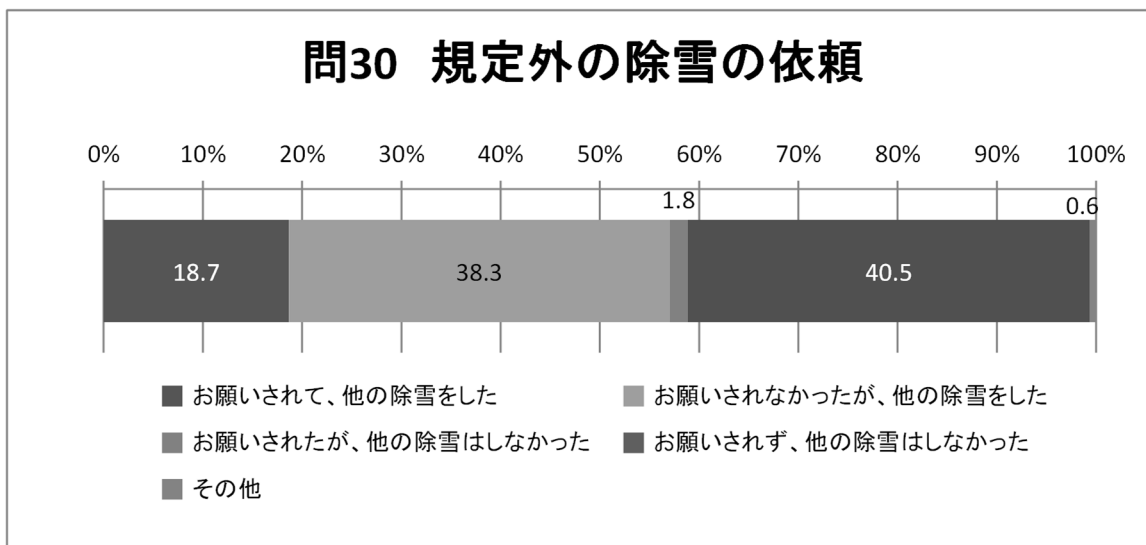
問29 声かけ・安否確認等の実施



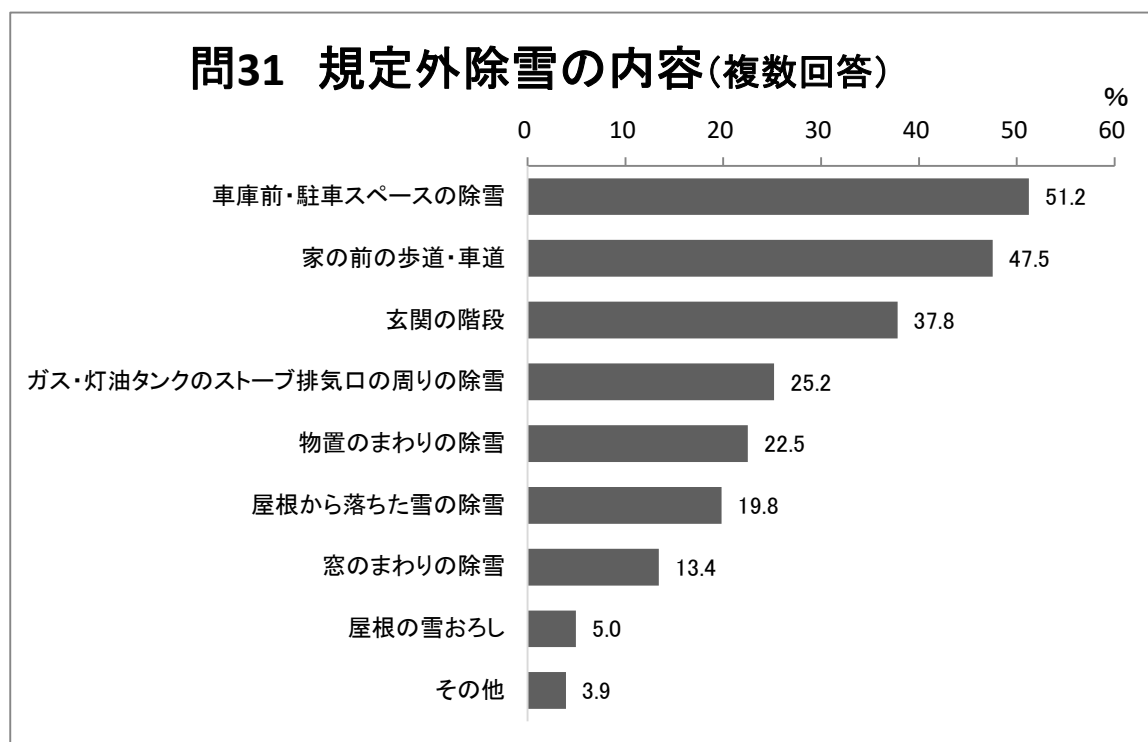
	毎回	ほとんどの回	何回か	1回だけ	除雪活動時以外に行った	あえて行わなかった	その他	利用者から不要と言われた	全体
R5	20.4%	13.7%	20.9%	7.4%	8.3%	23.4%	3.1%	2.8%	100.0%
R4	12.7%	11.6%	53.7%	8.0%	—	—	14.1%	—	100.0%

（１２）規定外の除雪（問３０、問３１）

「お願いされなかったが、他の除雪をした」の割合が最も高く 38.9%であった。「お願いされて、他の除雪をした」と合わせると、約 6 割が規定外の除雪を実施している。



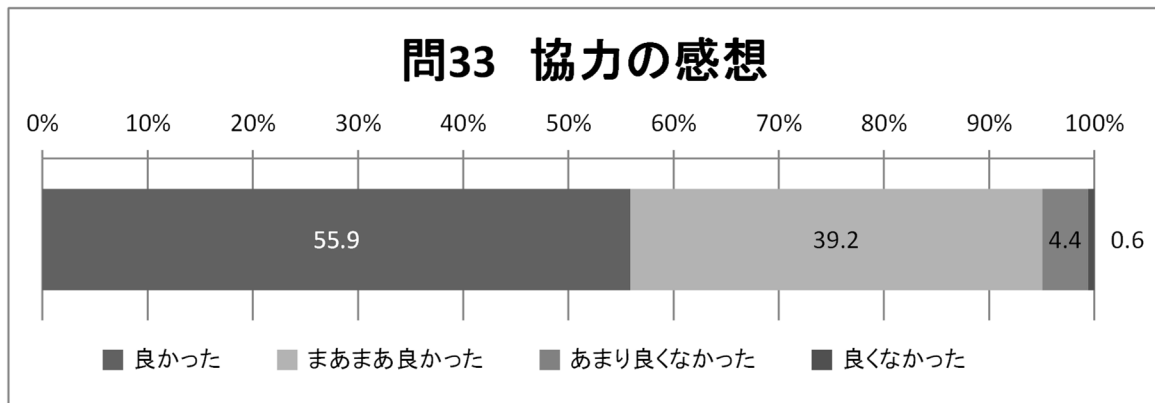
また、除雪を行った箇所については「車庫前・駐車スペース」の割合が最も高く 51.2%、次いで「家の前の歩道・車道」が 47.5%、「玄関前の階段」が 37.8%であった。



3. 福祉除雪事業への参加について

(1) 協力の感想（問33）

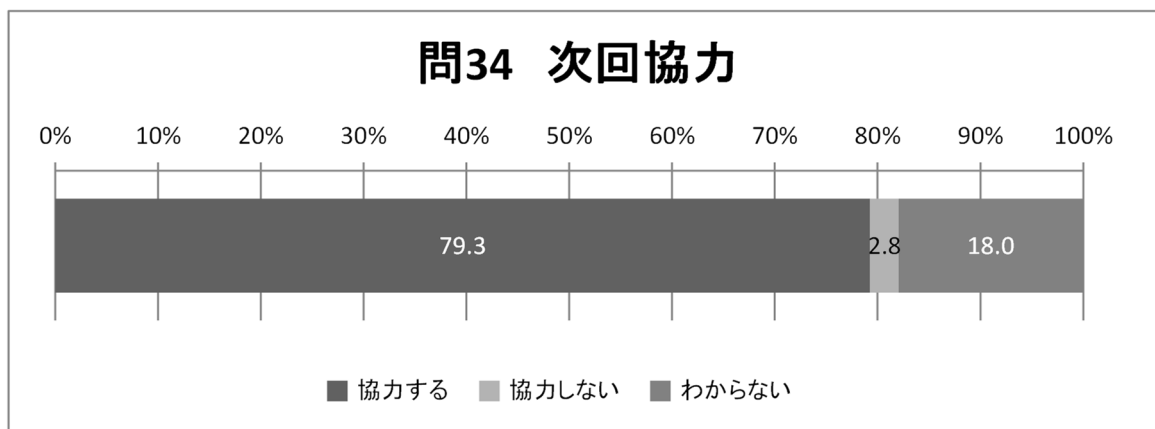
「良かった」「まあまあ良かった」を合わせると 95.0%となり、ほぼ全ての人が『良かった』と回答している。



	良かった	まあまあ良かった	あまり良くなかった	良くなかった	全体
R5	55.9%	39.2%	4.4%	0.6%	100.0%
R4	57.7%	38.4%	2.9%	1.0%	100.0%

(2) 次回協力（問34）

「次回も協力する」は 79.3%と、約 8 割が協力すると回答している。



	協力する	協力しない	わからない	全体
R5	79.3%	2.8%	18.0%	100.0%
R4	77.5%	3.4%	19.1%	100.0%

「除雪作業が大変である理由」（問１２）別にみると、次回も協力すると回答した方の中では「雪を片付ける場所が足りない（80.6%）」「降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない（78.0%）」「除雪作業による身体への負担が大きかった（74.0%）」などが多く挙げられた。

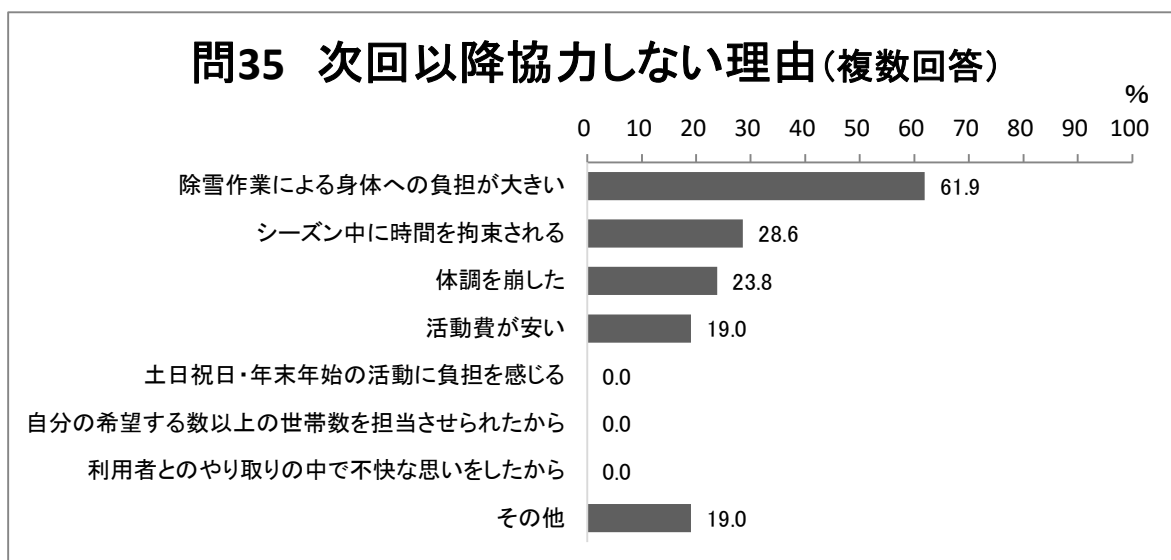
	協力する	協力しない	分からない	全体
除雪作業による身体への負担が大きかった	74.0%	4.8%	21.1%	100.0%
雪を片付ける場所が足りない	80.6%	1.5%	17.9%	100.0%
昼までに終わらせなければならない	72.5%	2.2%	25.3%	100.0%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	78.0%	3.3%	18.7%	100.0%
利用世帯に声をかけをしなければならない	73.7%	0.0%	26.3%	100.0%
シーズン通しての活動である	67.0%	2.9%	30.1%	100.0%
その他	77.6%	1.4%	21.0%	100.0%

また、「除雪範囲（敷地内通路）」（問２４）別にみると、「10m以上 20m未満」の割合が最も高く、85.7%であった。

	協力する	協力しない	分からない	全体
1m未満	77.8%	0.0%	22.2%	100.0%
1m以上 5m未満	77.0%	3.1%	19.9%	100.0%
5m以上 10m未満	80.2%	2.0%	17.8%	100.0%
10m以上 20m未満	85.7%	1.8%	12.5%	100.0%
20m以上 30m未満	76.5%	5.9%	17.6%	100.0%
30m以上	62.5%	25.0%	12.5%	100.0%

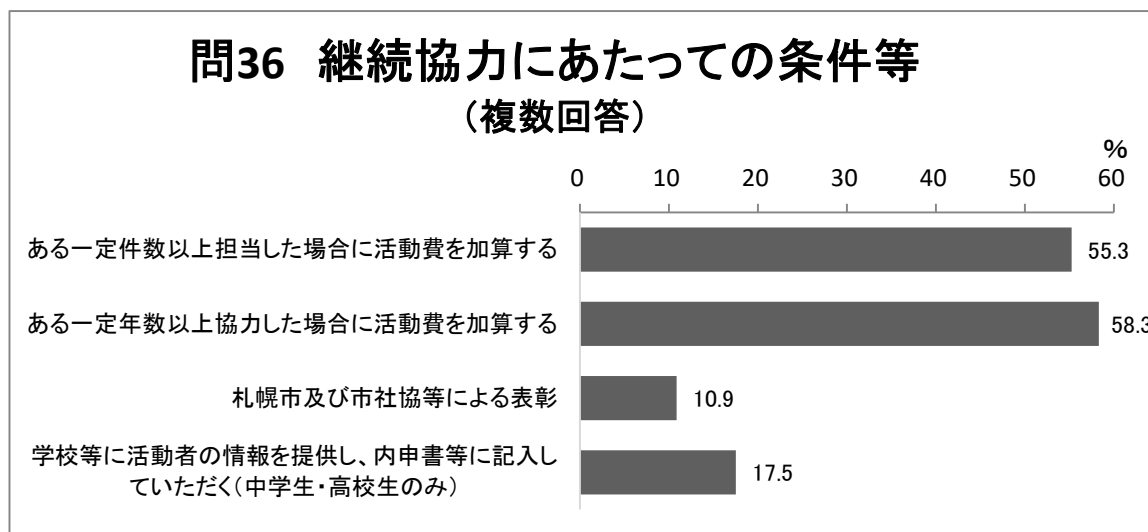
（３）協力しない理由（問３５、問３４で「協力しない」と回答した方限定）

「除雪作業による身体への負担が大きい」が 61.9%と最も高く、次いで「シーズン中に時間を拘束される」（28.6%）、「体調を崩した」（23.8%）となっている。



（４）継続協力にあたっての条件等（問３６）

「ある一定件数以上担当した場合に活動費を加算する（55.3%）」および「ある一定年数以上協力した場合に活動費を加算する（58.3%）」の割合が高く、いずれも約６割であった。



また、「担当世帯数」（問２０）別にみると、「１世帯」「２世帯」では「ある一定年数以上担当したら活動費を加算する（それぞれ 54.3%、59.7%）」、「３～４世帯」「５～７世帯」では「ある一定件数以上協力したら活動費を加算する（それぞれ 69.9%、84.4%）」が最も高い割合を示している。

	ある一定件数 以上担当したら	ある一定年数 以上協力したら	札幌市及び市 社協による表彰	内申書等に記入
１世帯	41.8%	54.3%	9.4%	24.2%
２世帯	57.7%	59.7%	11.4%	14.1%
３～４世帯	69.9%	61.8%	13.8%	13.0%
５～７世帯	84.4%	68.8%	6.3%	3.1%
８～１０世帯	66.7%	75.0%	8.3%	16.7%
１１世帯以上	100.0%	50.0%	25.0%	0.0%

(5) 「福祉除雪についての意見（改善点など）（自由記入）（問38）」

主な意見抜粋

回答者数合計 374 件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
課題・要望	今年度が2年目だったので活動前に簡単な図で雪を掻く場所と寄せる場所をこちらの考えとして伝えました。1年目はこの辺りのコミュニケーションをどうすればよいかわからず難しかったので、わかりやすいアドバイスがあるとありがたいかなと思いました。担当する利用者さんの状況を前もって教えてもらえるとありがたいと思います。挨拶に伺ったときに、歩くのが辛そうで耳の聞こえがあまりよくない様子を見て、紙面でのやりとりの方がよかったかなあと申し訳なく思ったので。	139
	除雪範囲に草木の枝（とげがある）が飛び出していて、トゲが服にふれるので枝を切ってもらいました。除雪が始まる前には通路の整理や飛び出している枝を切っておいてほしいです。	
	毎年回答しているが、何も変わっていない。市の除雪ルール（回数だと今年5回ですむ）住んでいる人は20cm（市のルール）以内でも住んでいる家の建て方、方向によって積雪は変わります。特に玄関前の階段は大変。倍の労力がかかる。除雪が始まる前に協議会で説明会を行ってはどうですか。	
	福祉除雪は様々な課題や問題がありますが、現状維持もしくは後退したとしても継続はしてほしい施策です。	
	今年度、息子（中2）が中学校からもらったプリントを見て、本人がやってみたいとのことだったので家族で活動しました。福祉協議会から学生の活動を報告していただけるような環境があれば良いなと思っております。本人は来シーズン（中3）も活動したいと言っておりますので、ご検討いただけますと幸いです。	
やりがい・達成感	いろいろ規模があり利用者が依頼しにくい面はあるが、規定したうえでの状況でこちらがその状況判断して実施する。そうすると感謝されこちらやる気につながる。ただの雪かき用具としては考えてほしくなくて、本当に体が不自由で雪かきできない方への福祉事業と考えていただきたい。サービス過剰にならないように。	86
	利用者のお宅も自分の家と同様に考えて除雪していただきましたので利用者から「きれいに丁寧に除雪していただいて…」と喜ばれ、その一言で疲れもなくなりました。	
	利用者から感謝されています。ずっと福祉除雪を実施してほしいとのことのお願ひがあります。一世帯の除雪担当で申し訳ないと思っておりますが、複数の世帯を持つとマニュアル通りのことができず利用者から不満が出るのが恐ろしい。高齢者に喜んでもらえることを私はしたい。	
	息子が自発的にかかわり参加したいとのこと参加しました。社会活動の一環。「ありがとう」と言われる機会が息子も持てたことはいい経験でした。	
基準外の除雪	除雪車の出動にかかわらず除雪を実施しなければならない降雪の日々が多い。再考をお願いしたい。	70
	対象者は高齢者で自分ではできない人が多いと思うのでその生活に便利だと思ふことまでやってやりたくなり実際やっている。対象が毎年1人だったためにできたが、対象者を多数にされたら規則通りにしかできなくなると思ふ。必要以外のことはボランティアの自由で良いのではと考えている。	
	市の除雪が入るのは積雪20cm以上の時と聞いています。その時だけの除雪だけですと全く不足だと思います。除雪を依頼される方は何らかの問題（高齢、障がい）があるために10cm積もっても自分で行うのは難しいと思います。なので、私は5cm積もっても除雪に行きました。このことは、人のために行う活動であるので苦痛とかはまったくありません。今後も人のために積極的に活動したいと思ひます。	
	車庫前の除雪を頼まれましたが、未実施でした。除雪集雪する場所が少なく、上に高く投げ入れるしかないので困難です。特に樹木のある庭の場所では土日に踏み固めることも出来ずに2m超の高さになり除雪機でないと困難な場所があります。	

項目	内容	件数
除雪車の 出動・作 業内容	福祉除雪作業が終了した後（AM6:30 以降）に市委託業者の重機が道路の除雪をしたため再作業となった。	59
	活動日と除雪作業の表示が違っているためわかりづらいです。活動日は20cm 以上、除雪作業は 10cm となっており、当方は 10cm を目安に実施しております。また市の除雪の実施可否は前日の夜の積雪を元にしており、翌朝（0 時～）にいくら積もっても除雪車は入りません。まぎらわしいので表示を 1 本化してはどうでしょうか。あと、活動費(21,000 円)の見直しを行って頂ければ有難いです。ボランティアも人間です。	
	除雪車の出動基準にないとき積雪が 10cm くらいになり、除雪車が出動しなく気になり訪問、自己判断で除雪作業実施、翌日除雪車が出動したので作業に出かけたか前日の除雪作業のためか、除雪不要と判断。依頼先の老人宅はたとえ積雪が 10cm でも外に出るのが大変であるのでボランティアの判断で作業実施すべきであると思います。ボランティア活動終了後、依頼先へボランティアの活動評価をアンケートでとっているのでしょうか？もしアンケートを取っていたのであれば我々の活動評価を知らせてほしい。来年以降の自分の活動の見直しにも参考になるため。	
制度の 周知	利用者宅に子どもの車が停まってる日が多く、作業が大変でした。きっと子どもさんをご両親を心配して毎日のように深夜から朝まで泊りに来られていたと思われます。また毎日のように来られる場所に家族が住んでいる方をボランティア先にするのは適切と思えません。除雪協力員として今後も活動しても良いのですが、協力員へお金や高額な食べ物、重たいものを買って渡すことのないよう社協から利用者へ文章等で伝えてほしいです。	37
	現在、福祉除雪を行っている世帯以外でも大変な世帯が少数見受けられますので、このような制度があることをもう少しアピールなど行ってはいかがでしょうか。	
	以前担当したお宅での事例ですが、基準以上の範囲の除雪をしているにもかかわらず土日等に親戚か否か不明だが、除雪範囲を大きく広げたり手直ししたりするケースがたびたびあった。除雪方法が気に入らず手直しするのだろうが、大変やりづらさを感じる。そこまで除雪できるならこの制度を利用せず身内の方で対処してほしいと思ったことがある。	
協力員の 募集・拡 充等	この制度の継続のために健康な定年退職者の力活用が有効と思う。担い手確保のために定年が近い人に年金制度等の説明とセットで「福祉除雪」や「ボランティア活動」の紹介をすることで活動の認知が広がり継続しやすくなると考える。	28
	この活動に興味のある方はたくさんいました。もっと人の目にとまる PR があったら良いなと思いました！	
	お金より福祉除雪を 10 年やったらのちに 10 年やってもらえるという制度の方が若い人の協力が得られるように思う。ご検討いただきたい。	
その他	今後（夏までには）岩見沢に転居予定で、協力できなくなるのが残念。岩見沢でも大雪だからこのようなボランティアがあれば協力したい。	25
	基本、ボランティアと思っていて、活動費がいただけると知って驚いたが、金額を上げたら業者と同じだし何か行政としてのインセンティブがあると良いかなと思う(自分としては、特段希望はない)。	

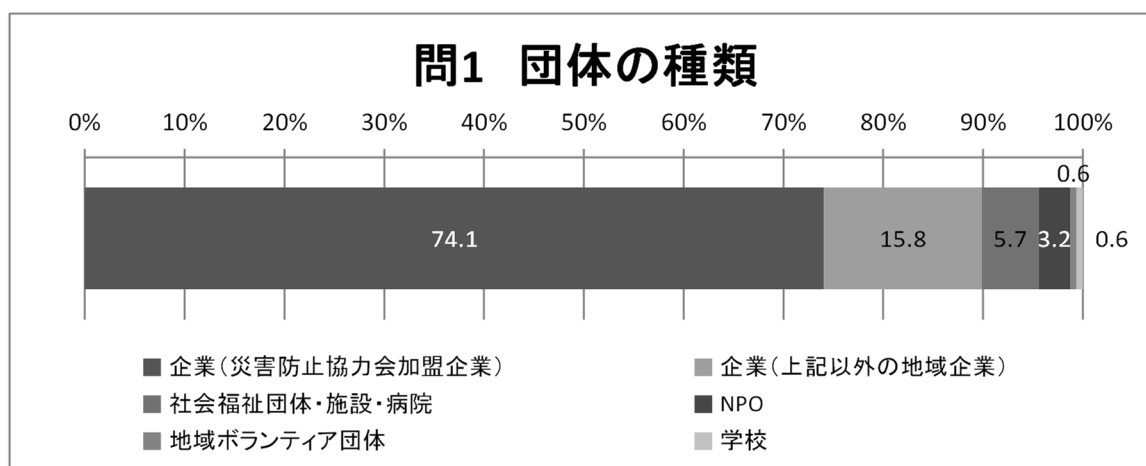
IV 地域協力団体

地域協力員のうち、地域協力団体（NPO、福祉施設、学校、地域企業、防災協）の協力員「206 団体（区間で重複する企業等を除く）」全てを対象にアンケート調査を実施したところ、「158 団体」から回答があった。（回収率 76.7%）

1. 団体について

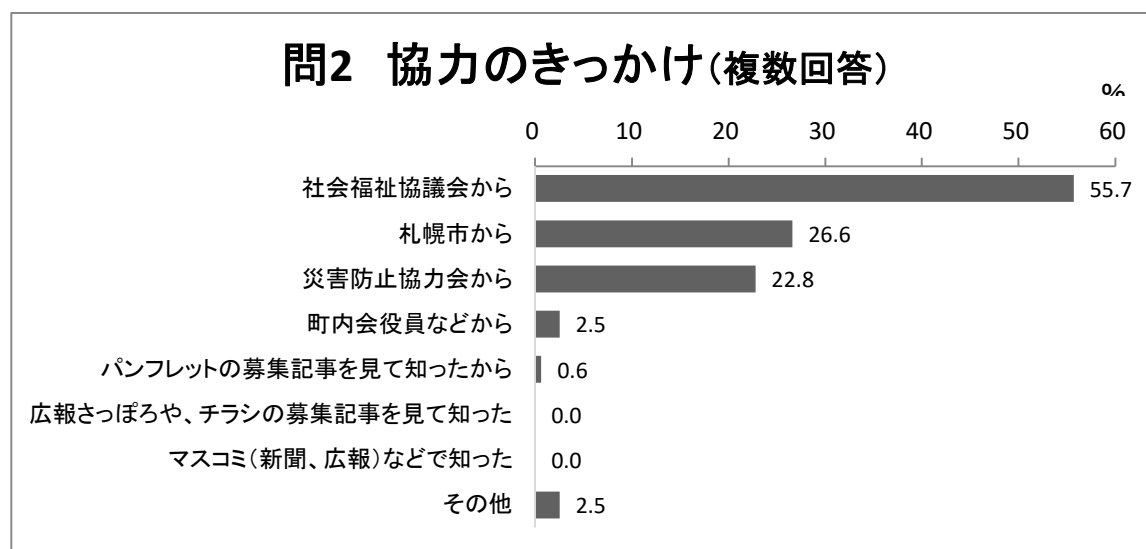
（1）団体の種類（問1）

「災害防止協力会加盟企業」の割合が最も高く 74.1%、次いで「災害防止協力会以外の地域企業」が 15.8%であった。



（2）協力のきっかけ（問2）

「社会福祉協議会」の回答の割合が 55.7%と最も高く、次いで「札幌市」が 26.6%、「災害防止協議会」が 22.8%と、関係団体からの協力要請が多い。また、前年度と比較すると「札幌市」が 10 ポイント以上増加している。

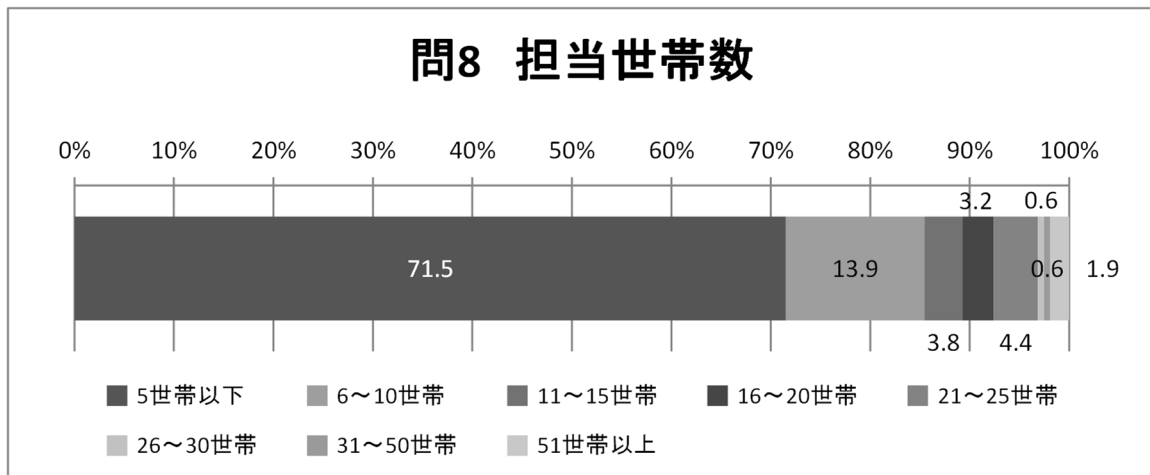


	R5	R4
社会福祉協議会から	55.7%	47.3%
札幌市から	26.6%	12.7%
災害防止協力会から	22.8%	34.7%
町内会役員などから	2.5%	4.7%
パンフレットの募集記事を見て知ったから	0.6%	4.0%
広報さっぽろや、チラシの募集記事を見て知った	0.0%	6.0%
マスコミ(新聞、広報)などで知った	0.0%	0.7%
その他	2.5%	6.0%

2. 除雪を担当した利用世帯について

(1) 担当世帯数（問8）

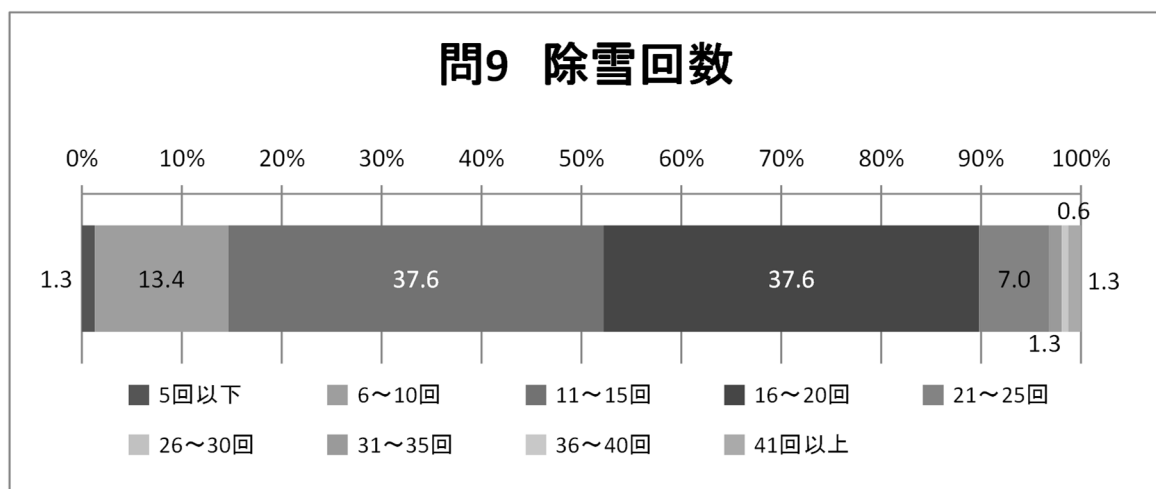
「5世帯以下」が71.5%と最も高く、「6～10世帯」の13.9%と合わせると、『10世帯以下』は約9割を占める。



	5世帯以下	6～10世帯	11～15世帯	16～20世帯	21～25世帯	26～30世帯	31～50世帯	51世帯以上	全体
R5	71.5%	13.9%	3.8%	3.2%	4.4%	0.6%	0.6%	1.9%	100.0%
R4	69.7%	9.9%	6.6%	3.3%	2.6%	3.3%	0.7%	3.9%	100.0%

(2) 除雪回数（1世帯あたり平均）（問9）

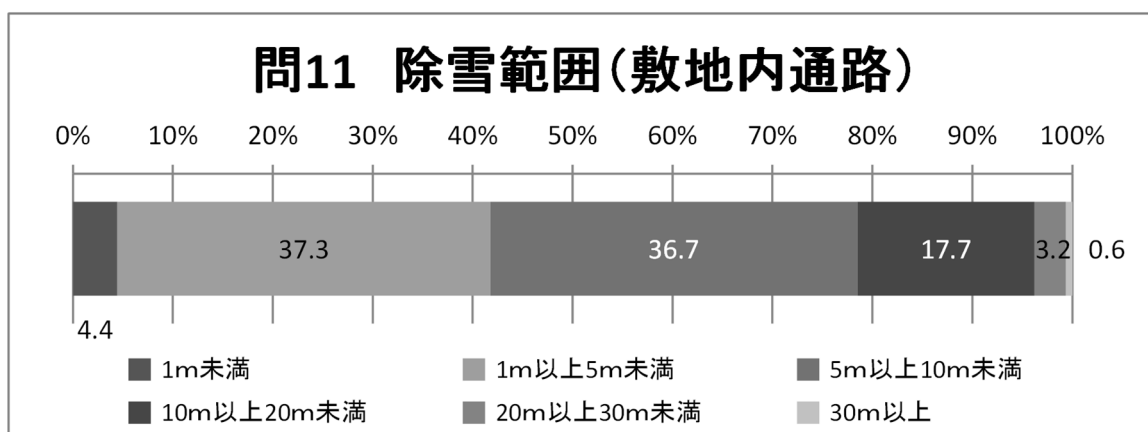
『15回以下』と回答した割合の合計は52.2%と、約半数を占めている。また、前年度と比較すると、「16～20回」が6.9ポイント増加している。



	5回以下	6～10回	11～15回	16～20回	21～25回	26～30回	31～35回	36～40回	41回以上	全体
R5	1.3%	13.4%	37.6%	37.6%	7.0%	0.0%	1.3%	0.6%	1.3%	100.0%
R4	0.7%	12.0%	43.3%	30.7%	8.7%	3.3%	0.7%	0.0%	0.7%	100.0%

(3) 除雪範囲（敷地内通路）（問 1 1）

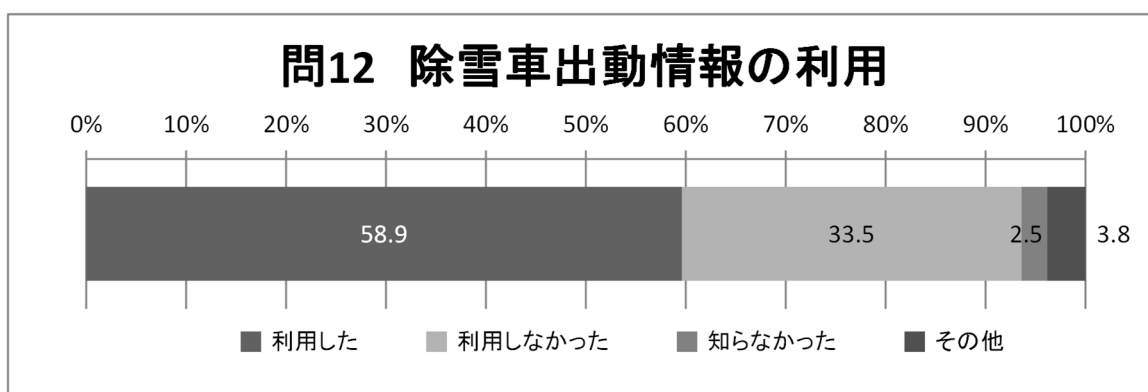
「1m以上5m未満」の割合が最も高く37.3%、次いで「5m以上10m未満」が36.7%であった。また『10m以上』は21.5%と全体の2割であった。



(4) 除雪車出動情報の利用（問 1 2、問 1 3）

出動情報を「利用した」は58.9%と、約6割が利用している。

利用の評価については、「大変役立った」と「まあまあ役立った」を合わせて97.8%と、利用したほとんどの団体が『役立った』としている。

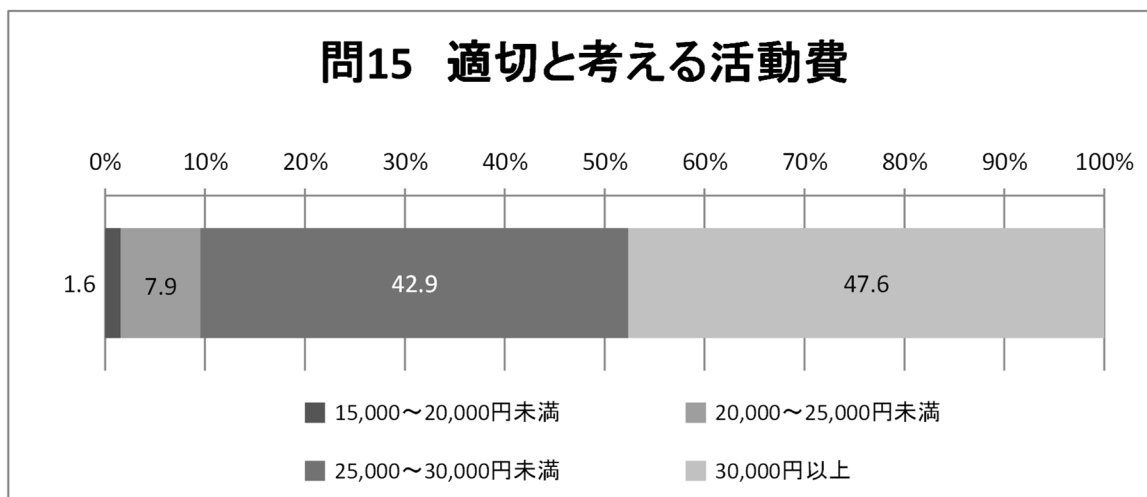
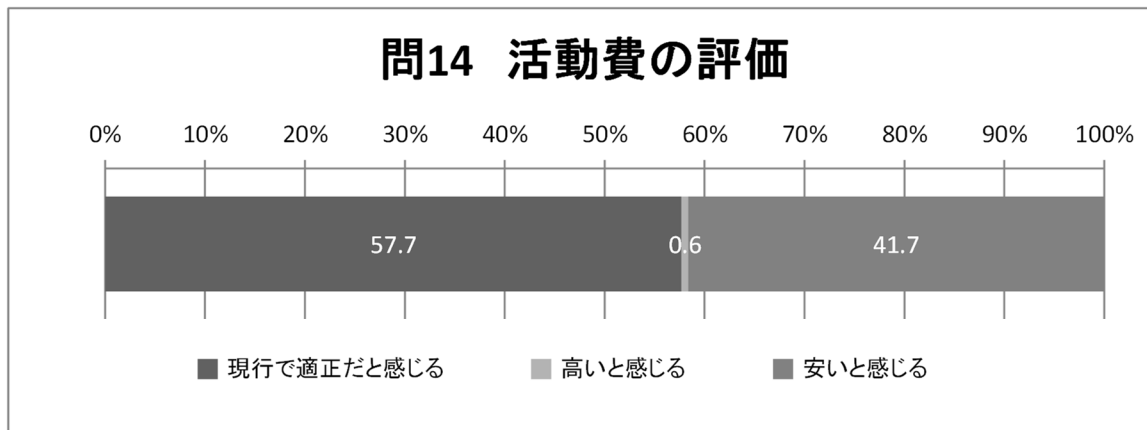


	大変 役立った	まあまあ 役立った	役立た なかった	その他	全体
R5	55.6%	42.2%	0.0%	2.2%	100.0%
R4	56.2%	40.4%	2.2%	1.1%	100.0%

（５）活動費の評価（問１４、問１５）

57.7%が「現行で適切と感じる」と回答している。一方、「安いと感じる」も約４割が回答している。

また、問１４で「高いと感じる」または「安いと感じる」と回答した方に、適切と考える活動費を尋ねたところ、「30,000 円以上」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「25,000 円～30,000 円未満」が 42.9%であった。

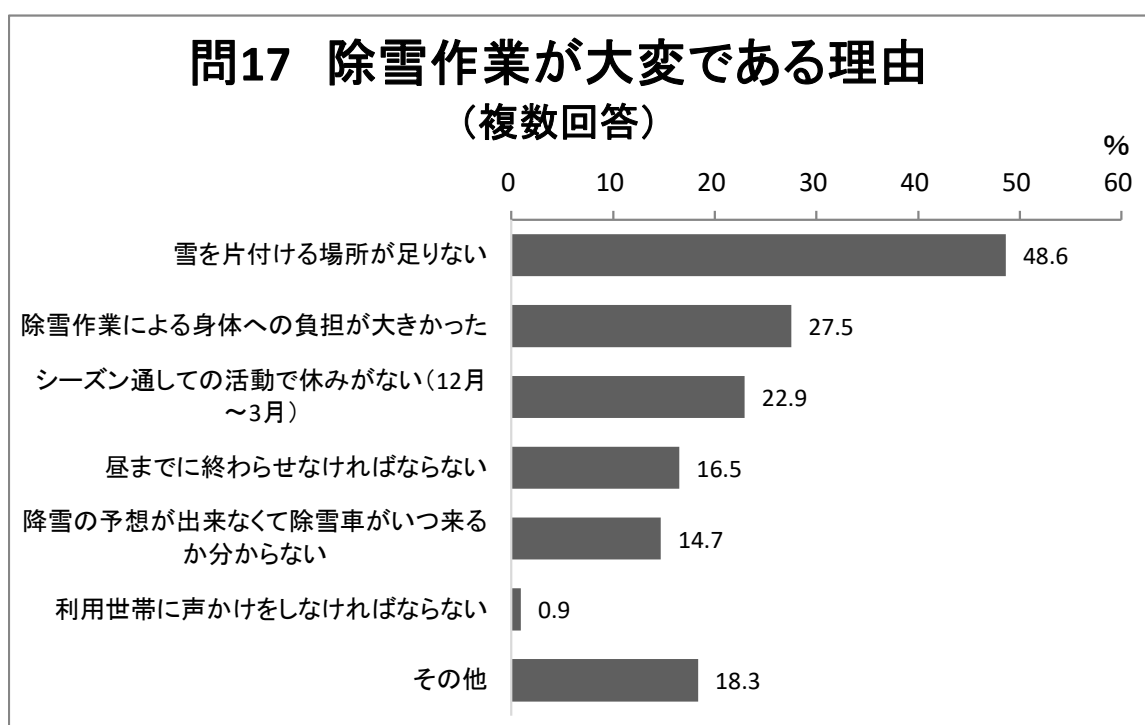
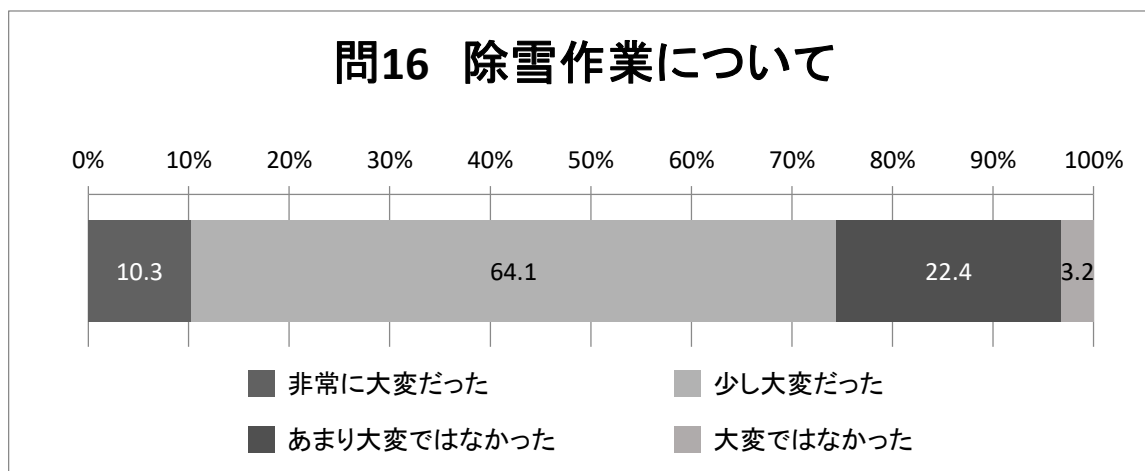


「除雪範囲（敷地内通路）」（問１１）別にみると、「1m以上 5m未満」および「10m以上 20m未満」では「30,000 円以上（それぞれ 70.0%、57.1%）」、「1m未満」「5m以上 10m未満」「20m以上 30m未満」では「25,000 円～30,000 円未満（それぞれ 100.0%、46.7%、66.7%）」の割合が最も高かった。

	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円 以上
1m未満	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
1m以上 5m未満	0.0%	5.0%	25.0%	70.0%
5m以上 10m未満	3.3%	10.0%	46.7%	40.0%
10m以上 20m未満	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%
20m以上 30m未満	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
30m以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（６）除雪活動の負担感（問１６、問１７、問１８、問１９）

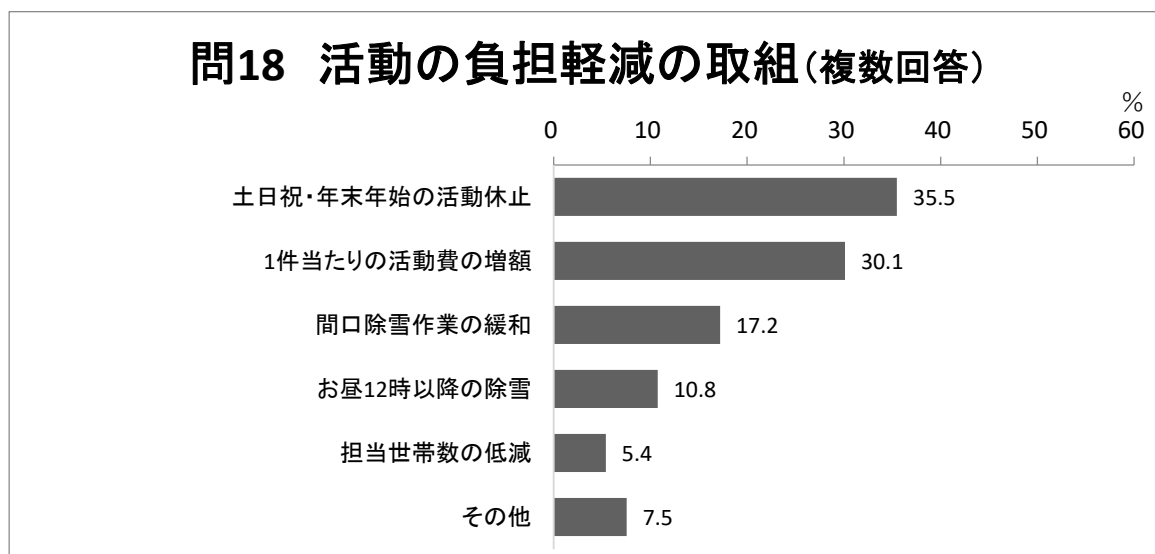
「少し大変」が 64.1%と約 6 割を占め、次いで「あまり大変ではなかった」が 22.4%となっている。「除雪作業が大変」である理由としては、「雪を片付ける場所が足りない（48.6%）」「除雪作業による身体への負担が大きかった（27.5%）」「シーズン通しての活動で休みがない（22.9%）」が特に多くあげられた。



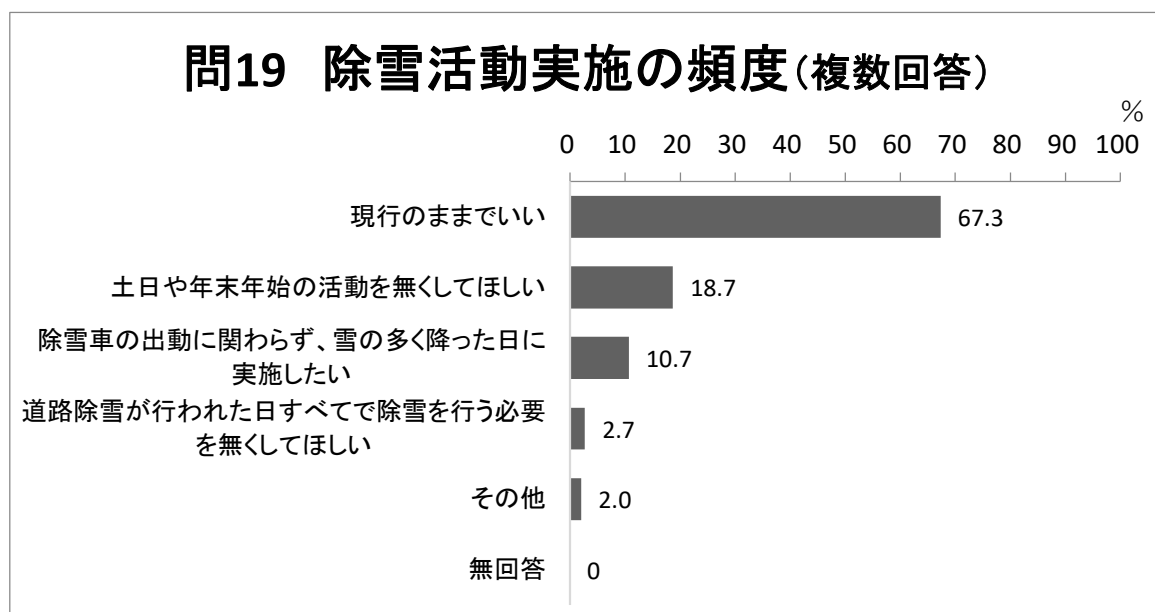
「適切と考える活動費」（問１２）別にみると、いずれの項目においても「30,000 円以上」を希望する割合が最も高かった。

	15,000円～ 20,000円未満	20,000円～ 25,000円未満	25,000円～ 30,000円未満	30,000円以上
除雪作業による身体への負担が大きかった	0.0%	5.9%	47.1%	47.1%
雪を片付ける場所が足りない	0.0%	7.4%	44.4%	48.1%
昼までに終わらせなければならない	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	0.0%	0.0%	44.4%	55.6%
利用世帯に声をかけをしなければならない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
シーズン通しての活動である	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%
その他	20.0%	0.0%	20.0%	60.0%

活動の負担軽減の取組では、「土日祝・年末年始の活動休止」の割合が最も高く 35.5%、次いで「1件当たりの活動費の増額」が 30.1%となっている。



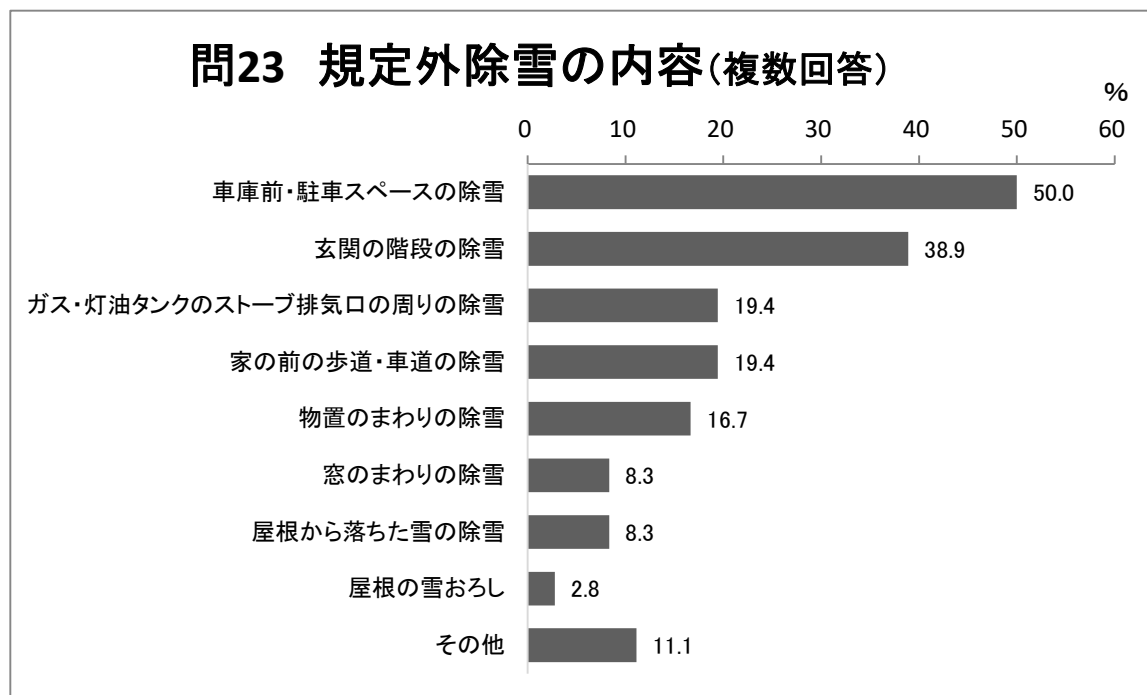
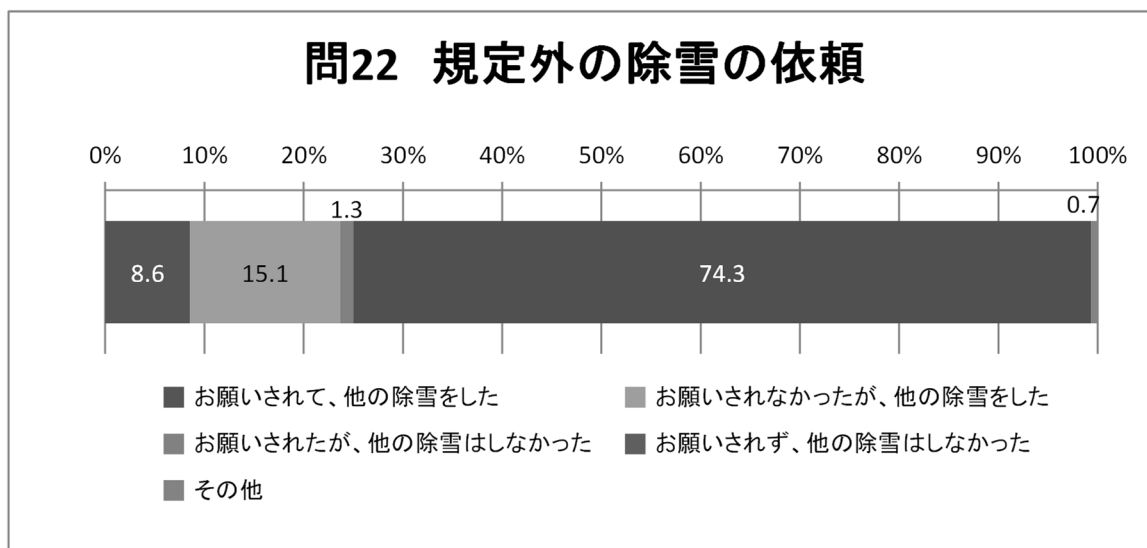
また、除雪活動実施の頻度では、「現行のままでいい」の割合が最も高く 67.3%、次いで「土日や年末年始の活動を無くしてほしい」が 18.7%であった。



(7) 規定外の除雪（問22、問23）

「お願いされず、他の除雪はしなかった」の割合が最も高く 74.3%であった。一方、「他の除雪をした」は 23.7%と、約2割であった。

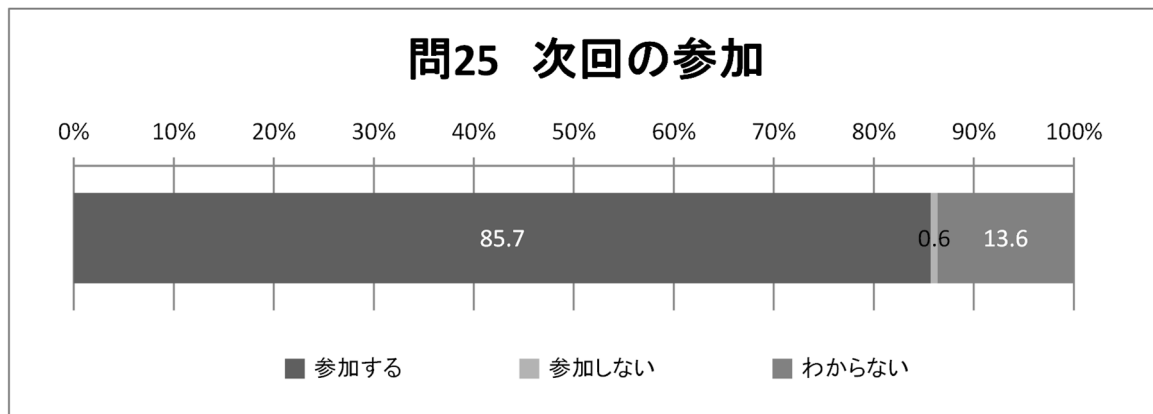
また、他の除雪を行った箇所について尋ねたところ、「車庫前・駐車スペース」の割合が最も高く 50.0%、次いで「玄関の階段」が 38.9%、「ガス・灯油タンクのストーブ排気口の周り」「家の前の歩道・車道」がともに 19.4%であった。



3. 次回以降の福祉除雪について

(1) 次回の参加（問25）

「参加する」が85.7%と、約9割を占めている。



	参加する	参加しない	わからない	全体
R5	85.7%	0.6%	13.6%	100.0%
R4	88.2%	1.4%	10.4%	100.0%

「除雪範囲（敷地内通路）」（問8）別にみると、いずれの項目も「参加する」の割合が最も高かった。

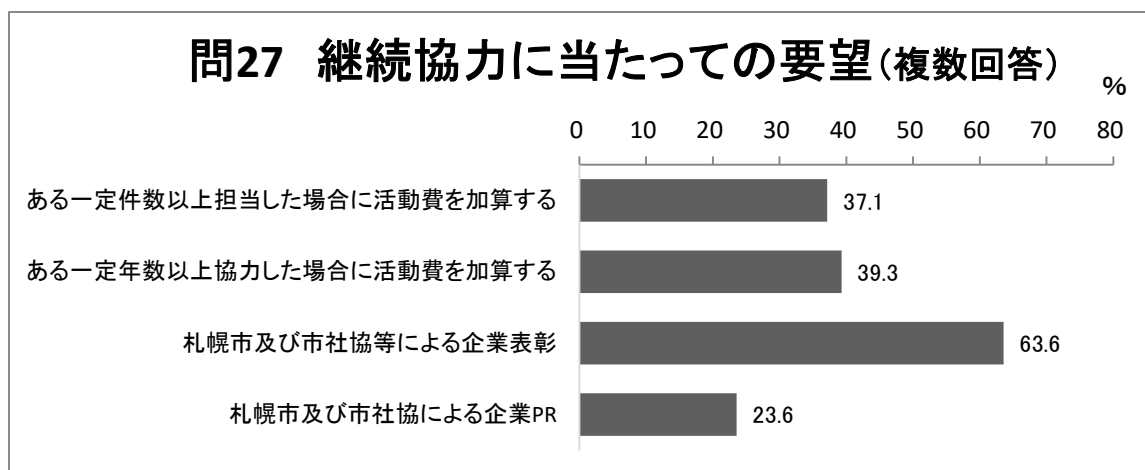
	参加する	参加しない	分からない	全体
1m未満	85.7%	0.0%	14.3%	100.0%
1m以上 5m未満	84.7%	1.7%	13.6%	100.0%
5m以上 10m未満	89.1%	0.0%	10.9%	100.0%
10m以上 20m未満	85.2%	0.0%	14.8%	100.0%
20m以上 30m未満	60.0%	0.0%	40.0%	100.0%
30m以上	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%

「除雪作業が大変である理由」（問17）別にみると、次回も参加の意向がある方の中では「昼までに終わらせないといけない（94.4%）」「シーズン通しての活動である（84.0%）」「雪を片付ける場所が足りない（82.7%）」などが多く挙げられた。

	参加する	参加しない	分からない	全体
除雪作業による身体への負担が大きかった	80.0%	0.0%	20.0%	100.0%
雪を片付ける場所が足りない	82.7%	1.9%	15.4%	100.0%
昼までに終わらせなければならない	94.4%	0.0%	5.6%	100.0%
降雪の予想が出来なくて除雪車がいつ来るか分からない	81.3%	0.0%	18.8%	100.0%
利用世帯に声をかけをしなければならない	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
シーズン通しての活動である	84.0%	0.0%	16.0%	100.0%
その他	70.0%	0.0%	30.0%	100.0%

（２）継続協力にあたっての条件等（問２７）

「札幌市及び市社協等による企業表彰」の割合が最も高く 63.6%、次いで「ある一定年数以上協力した場合に活動費を加算する」が 39.3%であった。

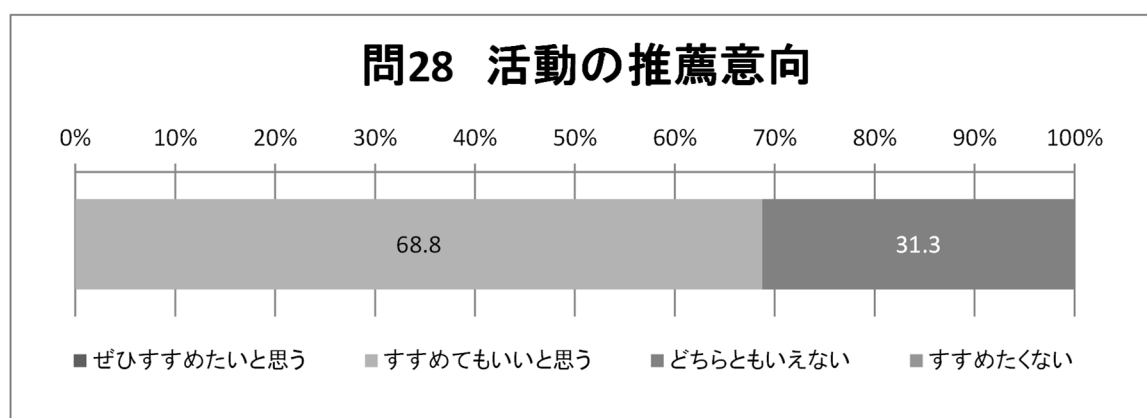


「担当世帯数」（問８）別にみると、「５世帯以下」「６～１０世帯」では「札幌市及び市社協等による企業表彰（それぞれ 68.3%、50.0%）」、「１１～１５世帯」「１６～２０世帯」「２１～２５世帯」では「ある一定件数以上担当したら（それぞれ 75.0%、100.0%、60.0%）」の割合が最も高かった。

	ある一定件数 以上担当したら	ある一定年数 以上協力したら	札幌市及び 市社協等による 企業表彰	札幌市及び 市社協等による 企業PR
５世帯以下	28.7%	36.6%	68.3%	23.8%
６～１０世帯	45.0%	35.0%	50.0%	20.0%
１１～１５世帯	75.0%	25.0%	50.0%	50.0%
１６～２０世帯	100.0%	80.0%	80.0%	20.0%
２１～２５世帯	60.0%	60.0%	20.0%	20.0%
２６～３０世帯	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
３１～５０世帯	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
５１世帯以上	66.7%	100.0%	66.7%	33.3%

（３）活動の推薦意向（問２８）

福祉除雪の活動を他の企業・団体に「すすめてもいいと思う」の割合が 68.8%、「どちらともいえない」が 31.3%であった。



(4) 福祉除雪についての意見（自由記入）（問29）

主な意見抜粋

回答者数合計 38 件（無回答・「特になし」を除く）

項目	内容	件数
課題・要望	私たちは通常担当の路線の除排雪後に福祉除雪を行っているのですが、今季は福祉除雪の対象となる住宅前の除雪が 7 時過ぎまで終わっていかなくて、除雪作業が出来なかったことがありました。その日のお昼まで作業を終えればよいとの条件があるのはわかるのですが、私たちのような業者が除雪作業完了まで待っていると人件費がさらに嵩み、活動費で収まらなくなってしまうので、各除雪業者には作業終了時間の確認をしていただきたいです。	28
	福祉除雪の出動の可否は新雪および全線出動した場合のみ実施したが、どうしても福祉世帯に寄り添ったきめ細やかな除雪は出来なかった。また、特定の世帯は除雪しに行っても既に除雪されており、何のためにこの制度を利用しているのか疑問を感じる時があった。なお昨年もアンケートに書いたが、各家庭分の時間記入は面倒なのでやめてほしい！	
	今回は、近隣住民の理解があり、家の前など駐車スペースを使わせていただけましたが、道が狭く駐車スペースがないお宅もあり、交通の妨げになってしまう事もありました。現場では駐車スペースを事前に確保しておいていただけるとありがたいです。本アンケートについては、ネットでの回答を希望します。	
	当社は有償除雪もしており、他地域にも行きます。当社が福祉除雪を終えてから行くと、除雪車が動いていない日は福祉除雪が入られていない箇所を多数見かけます。1 件あたりの金額が安いからなのか、除雪回数が少ないのでしょうか。出動回数が多いなど、そういうことを評価や金額に反映させたいかがでしょうか。	
	問 12 の除雪車の出場状況について、出動理由のうち「その他」というものがあり、実際には降雪があまりないにも関わらず、念のために担当世帯まで確認しに行かなければならず、具体的な理由の明記もしくは福祉除雪の出動は不要です等の注意書きなどがあればいいと思います。	
利用世帯の理解不足	降雪が夜の 11 時以降に多くあった場合、札幌市の除雪は無いことが 3 回ほどあり、福祉除雪に行かないが、利用者から電話が来て 2 日続けていくことがあった。その際は、市の除雪が来てから行く旨を伝えて断っても良いものか迷った。	6
	道路除雪作業完了後、担当世帯の対応に向かうも、すでに通路部分がキレイに除雪されていることが多かった。住民の方にお話を伺うと「近所の人にお願ひして早朝に敷地内の除雪を頼んでいて、福祉除雪はあくまで保険として利用している」とのこと。自力除雪が困難・または援助がない方への福祉活動を目的としているのであれば、本来の福祉除雪のありかたとして疑問を感じた。	
やりがい・達成感	地域社会に少しでも貢献できる機会をいただいて感謝しております。利用者様よりお電話であたたかい言葉をいただくこともあり、とても励みになっております。また来シーズンも北区の福祉除雪に参加させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。	2
	また来年もよろしくお願いいたします。	
その他	活動費についての質問がありますが、本校では生徒への金銭の受け渡しはありません。こちらは本来各生徒へ還元されるものなののでしょうか。システムが良く分からずにおります。教えていただけると幸いです。※生徒へのお礼として、食事会にご招待いただいています。	2
	ルールが進んでいると感じます。	